

三笠市地域公共交通計画 資料編

三笠市

令和 5 年(2023 年)2 月

三笠市地域公共交通計画

【資料編】

目次

第1章 資料編について	1
第2章 市民ニーズ把握調査	2
2.1 調査の内容	2
2.1.1 調査の概要.....	2
2.1.2 調査の項目.....	3
2.2 調査の結果	8
2.2.1 回答者属性.....	8
2.2.2 住まい.....	10
2.2.3 自動車利用.....	11
2.2.4 外出実態.....	13
2.2.5 公共交通利用.....	17
2.2.6 施策の方向性.....	21
第3章 バス利用実態調査	26
3.1 調査の内容	26
3.1.1 調査の概要.....	26
3.1.2 調査の方法.....	28
3.2 調査の結果	30
3.2.1 乗降者数.....	30
3.2.2 バス利用実態.....	47

第1章 資料編について

(1) 資料編の内容・調査の目的

三笠市の公共交通はJRが廃止されて以降、北海道中央バス(株)が運行する三笠市と岩見沢市を結ぶ「三笠線」や、札幌市に至る都市間高速バス「高速みかさ号」が三笠市民の通勤や通院のための重要な移動手段となっており、これを補完するため枝線として独自に「市営バス」の運行を行っている。

しかし、少子高齢化と人口減少が進むにつれ、収益確保が難しくなっており、これまでも減便等を進めながら、今後の対応について協議を行ってきた。住民の足である公共交通をこれからも維持していくためには、効率的な公共交通体系の構築が喫緊の課題となっている。

このような状況から、三笠市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、事業者の市内での事業継続を視野に入れつつ、地域公共交通のあり方を整理したマスタープランとして、三笠市地域公共交通計画の策定を行うこととした。

計画策定にあたっては、モビリティの進化や現在策定中の三笠市立地適正化計画などによる交通環境の変化に応じた計画実施を可能とするため、現在の住民の移動ニーズと公共交通の利用実態を正確に調査・分析し、今後の指標として確立することが必要となる。

そこで計画策定に向けて、三笠市では三笠市民を対象とした『市民ニーズ調査（アンケート調査）』および「三笠線」「高速みかさ号」「市営バス」の『バス利用実態調査』を令和4年度に実施した。

本資料編では、それら『市民ニーズ調査（アンケート調査）』と『バス利用実態調査』の調査内容と結果を整理したものである。

(2) 数値について

調査結果等の数値は表示桁未満を四捨五入している。そのため、構成比の合計値が見た目上100%と一致しない場合がある。

第2章 市民ニーズ把握調査

2.1 調査の内容

2.1.1 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の普段の移動実態（通勤通学・買い物・通院等）や公共交通に対するニーズを把握することを目的とする。

(2) 調査対象・調査方法

郵送配布によりアンケート調査票を配布し、回答は郵送返信または Web 回答とした。

(3) 調査日

令和4年9月30日に調査票を発送した。

返送期限は令和4年10月16日と設定し、10月31日まで回収分で回答を締め切った。

(4) 回収数・回収率

郵送配布によりアンケート調査票を配布し、回答は郵送返信または Web 回答とした。

表 2-1 市民ニーズ把握調査（アンケート）の実施概要

対 象	20 歳以上の三笠市民のうち 3,200 人を無作為抽出
配布方法	郵送配布
回収方法	郵送回収 調査票に QR コードを記載し、Web 回答も可能とした
回収数・回収率	郵送回収による有効回答票 1,153 票 Web 回答による有効回答票 243 票 合計 1,396 票（回収率 43.6%）

2.1.2 調査の項目

(1) 調査項目

調査項目は下表のとおり。交通に関しては「外出実態」と「自動車」「公共交通」それぞれの利用実態と意向について調査するとともに、「住まい」の現状と意向を踏まえて、交通とまちづくりの「施策の方向性」を聞く内容となっている。

表 2-2 市民ニーズ把握調査（アンケート）の調査項目

分類	調査項目
回答者属性	・ 年齢・性別・職業・家族構成・居住地区
住まい	・ 居住地区を選んだ理由・今後の居留意向 ・ 将来の生活環境の条件
自動車利用	・ 自動車運転免許の有無・運転の有無・家族の運転有無 ・ 将来の運転意向・運転できなくなった時の交通行動
外出実態	・ 外出の頻度 ・ 移動目的別の行き先、交通手段、頻度
公共交通利用	・ バス停アクセス ・ 路線バスの利用有無、目的、頻度 ・ タクシーの利用有無、目的、頻度 ・ 路線バスを利用しない理由・満足度 ・ 路線バスが無くなった場合 ・ 三笠 IC でのパークアンドバスライド
施策の方向性	・ 公共交通維持と市民負担への考え方 ・ 必要と考える取り組み ・ 中心拠点に必要な施設 ・ 自由意見

(2) 調査票

調査票は次頁のとおりである。

三笠市の公共交通に関するアンケート

問1 あなた自身のことやお住まいについてお聞きします。

問1-1 あなたの性別・年齢についてお聞きします。(性別欄の回答は任意です。)

性別	①男性	年齢	①20代	②30代	③40代	④50代	⑤60代
	②女性		⑥70代	⑦80歳以上			

問1-2 あなたの職業についてお聞きします。

①会社員・団体職員	②公務員	③農林漁業	④自営業(農林漁業以外)	⑤学生
⑥専業主婦・主夫	⑦パート・アルバイト	⑧無職	⑨その他 ()	

問1-3 あなたのご家庭は何人住まいですか？あなた自身も含めた人数でお答えください。

①1人	②2人	③3人	④4人	⑤5人以上
-----	-----	-----	-----	-------

問1-4 あなたのお住まいの地域に○をつけてください。

①岡山	②菅野	③三笠	④美園	⑤幌内	⑥唐松	⑦清住	⑧弥生	⑨幾春別/奔別/桂沢
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------------

問1-5 現在お住いの地区を選んだ理由について教えてください。(主な理由2つに○)

①自分の職場・学校から近い	②子どもの学校から近い
③商店や病院、公共施設等が近くにある	④交通の利便性が高い
⑤生活費の負担が少ない(家賃が安い等)	⑥周辺環境が良い(緑が多い、静か等)
⑦先代から住んでいる	⑧その他 ()

問1-6 現在お住いの地区での今後の居住意向について教えてください。(1つに○)

①これからも住み続けたい	②三笠市内の違う地区に移りたい	③三笠市外に移りたい
④今後の状況による	⑤今はわからない	

問1-7 将来の生活環境の条件として、何を優先しますか。(主な理由2つに○)

①自分の職場・学校から近い	②子どもの学校から近い
③商店や病院、公共施設等が近くにある	④交通の利便性が高い
⑤生活費の負担が少ない(家賃が安い等)	⑥周辺環境が良い(緑が多い、静か等)
⑦その他 ()	

問2 自動車の利用についてお聞きします。

問2-1 あなたは普段、自動車の運転をしていますか。運転していない方は、自動車運転免許の有無もお答えください。

①運転している	②運転していない → 自動車運転免許 (有 無)
---------	----------------------------

問2-1-1 上記で「①運転している」と回答した方にお聞きします。

1) 今後何歳ぐらいまで、自動車を運転する予定ですか。

① <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 歳ぐらいまで	②まだわからない	③運転をやめるつもりはない
--	----------	---------------

図 2-1 調査票 (1/4)

2) なんらかの理由で自動車が運転できなくなったとしたら、日々の移動手段や生活行動はどのようにしますか。(いくつでも可)

①バスを利用する	②タクシーを利用する	③家族に送迎してもらう
④知人に送迎してもらう	⑤送迎サービスを利用する	⑥外出先を変える
⑦外出回数を減らす	⑧車がなくても暮らせる地域に引っ越す	
⑨その他 ()		

問2-2 あなた以外に同居されているご家族の中に、普段自動車を運転する人はいますか。

①いる () 人	②いない
-----------	------

問3 あなたの普段の外出等についてお聞きします。

問3-1 あなたは普段どれぐらいの頻度で外出していますか。

①ほぼ毎日	②週3~4回	③週1~2回	④月2~3回	⑤月1回程度
-------	--------	--------	--------	--------

問3-2 以下に示す外出目的別に、外出する回数や主な行き先、主な交通手段について、該当する番号を枠内にご記入ください。

回数・行き先 交通手段	ア. 外出する回数	イ. 主な行き先	ウ. 主な交通手段
	①ほぼ毎日 ②週3~4回 ③週1~2回程度 ④月2~3回程度 ⑤月1回程度 ⑥年数回程度 ⑦この目的では外出しない	(市内) ①三笠地区 ②岡山地区 ③その他の三笠市内 (市外) ④岩見沢市 ⑤札幌市 ⑥その他の三笠市外	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④バス・JR乗継 ⑤タクシー・ハイヤー ⑥車を自分で運転 ⑦家族・知人等に送迎 ⑧その他
記入例 あてはまる番号を記入→	例えば、ほぼ毎日なら①、月1回程度なら⑤と記入	例えば、三笠地区なら①、岩見沢市なら④と記入	例えば、徒歩なら①、車を自分で運転なら⑥と記入
(1) 通勤・通学			
(2) 通院			
(3) 買物			
(4) 会合・娯楽			
(5) 子や孫の送迎			

問4 公共交通機関の利用についてお聞きします。

問4-1 自宅から最寄りのバス停まで、徒歩で何分ほどかかりますか。(1つに○)

①徒歩5分以内	②徒歩10分以内	③徒歩15分以内	④徒歩15分超
⑤近くにバス停はない	⑥バス停がどこにあるか知らない		

図 2-2 調査票 (2/4)

問4-2 バスやタクシーの利用状況についてお聞きします。ここ1年間の利用がない方は「無」に、ある方は「有」に○を付け、利用頻度について該当する番号をご記入ください。

路線	ここ1年間の利用の有無	利用頻度	利用目的
	有の場合は「利用頻度」「利用目的」にあてはまる番号をご記入ください。	①ほぼ毎日 ②週3～4回 ③週1～2回 ④月2～3回 ⑤月1回程度 ⑥年数回程度	①通勤・通学 ②通院 ③買物 ④会合・娯楽 ⑤その他
中央バス 三笠線	無 有 →		
中央バス 高速みかさ号	無 有 →		
三笠市営バス 幌内線	無 有 →		
タクシー	無 有 →		

問4-2-1 前問で「ここ1年間でどの路線バスも利用していなかった方」にお聞きします。バスを利用しなかった理由を教えてください。(いくつでも可)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| ①車でどこへでも行けるので、バスを利用する必要がないから | ④バス路線が目的地を通らないから |
| ②家族の送迎でどこへでも行けるので、バスを利用する必要がないから | ⑤乗り継ぎしないと目的地に行けないから |
| ③運行本数が少ないから | ⑥バス停が自宅近くにないから |
| ⑦バス路線がわかりにくいから | ⑧利用したい時間帯に運行していないから |
| ⑨バスが時間通りに来ないから | ⑩目的地まで遠回りして時間が掛かるから |
| ⑪バス運賃が高いから | ⑫バスの乗り降りが大変だから |
| ⑬歩ける範囲で生活ができるから | |

問4-3 現在の三笠市内の路線バスの満足度についてお聞きします。(1つに○)

- | | | | | |
|-----|---------|-------|-----|-----------------|
| ①満足 | ②おおむね満足 | ③やや不満 | ④不満 | ⑤利用していないのでわからない |
|-----|---------|-------|-----|-----------------|

問4-4 三笠市内の路線バスの運行が無くなると困りますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| ①利用していないので困ることは無い |
| ②利用していないが、万一のときのために運行が無くなると困る |
| ③たまに利用しているので、運行が無くなると困る |
| ④普段から利用しているので、運行が無くなると困る |

問4-5 三笠インターチェンジ周辺に都市間高速バスの停留所が設置され、付近にバス停のほか専用駐車場が整備された場合、ご家族のなかで最も利用が想定される方の頻度と目的をお答えください。(それぞれ1つに○)

利用頻度	①ほぼ毎日	②週に数回	③月1回程度	④年数回程度	⑤利用しない
利用目的	①通勤	②通学	③通院	④その他	

図 2-3 調査票 (3/4)

問5 これからの三笠市の公共交通やまちづくりについてお聞きします。

問5-1 現状の利用者数の推移では、運行事業者の努力だけでは、公共交通を維持存続することが難しい状況になる恐れがあります。今後、市民の負担を増やさざるを得なくなった場合、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(1つに○)

- ①現状よりも利便性を向上させるべき(大幅な運賃アップなどの負担が生じてもいい)
- ②現状のサービス水準を維持するべき(運賃アップなどの負担が生じてもいい)
- ③サービス水準の低下はやむをえない(運賃アップなどの負担は増加させない範囲で運行する)

問5-2 今後の三笠市の持続可能な公共交通体系の構築に向けて、これから必要だと思う「取り組み」を選んでください。(いくつでも可)

- ①市立博物館やジオパークなどへの公共交通利用者向けパンフレット作成など、観光利用を掘り起こす
- ②市民の体験試乗会の実施など新たな利用者の掘り起こしを図る取り組みをする
- ③地域の特性に応じて、電話やインターネットによる予約制のバスを走らせる
- ④乗客がほとんど乗らない区間については、減便するなどバス路線を効率化する
- ⑤公共交通を使って行きやすい場所に、商店や病院、公共施設等の生活利便施設を集積させるとともに、住まいの場を集約するまちづくりを推進する
- ⑥二酸化炭素の排出抑制効果を周知するなど市民の環境意識を高め、公共交通の利用につなげる
- ⑦上記以外()

問5-3 三笠市は人口の減少が予測されており、これからも安心して住み続けられるまちづくりに向けて、中心となる拠点の形成が必要です。中心となる拠点にあなたが必要と考える施設を教えてください。(必要と考えるもの3つに○)

- ①商業施設 ②飲食店 ③教育文化施設(幼稚園、保育園、図書館等)
- ④行政サービス施設(市役所) ⑤医療施設 ⑥金融施設(銀行、郵便局等)
- ⑦子育て支援施設(児童館等) ⑧交流施設(市民会館、市民センター等)
- ⑨その他()

三笠市の公共交通に対するご意見がありましたら、下欄にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入が終わりましたら、回答されたアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、ポストにご投函下さい。(切手は不要です)

図 2-4 調査票 (4/4)

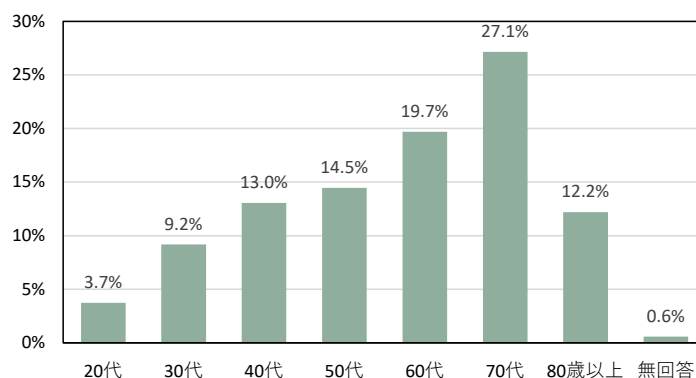
2.2 調査の結果

2.2.1 回答者属性

(1) 年齢・性別

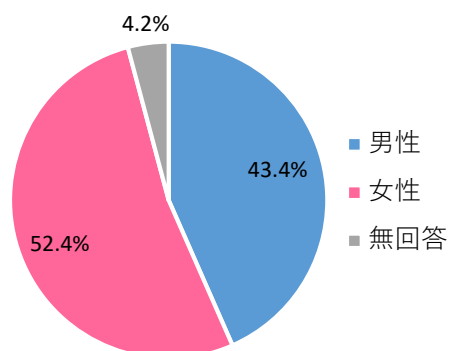
N=1,396

選択肢	回答数	割合
20代	52	3.7%
30代	128	9.2%
40代	182	13.0%
50代	202	14.5%
60代	275	19.7%
70代	379	27.1%
80歳以上	170	12.2%
無回答	8	0.6%
計	1,396	100.0%



N=1,396

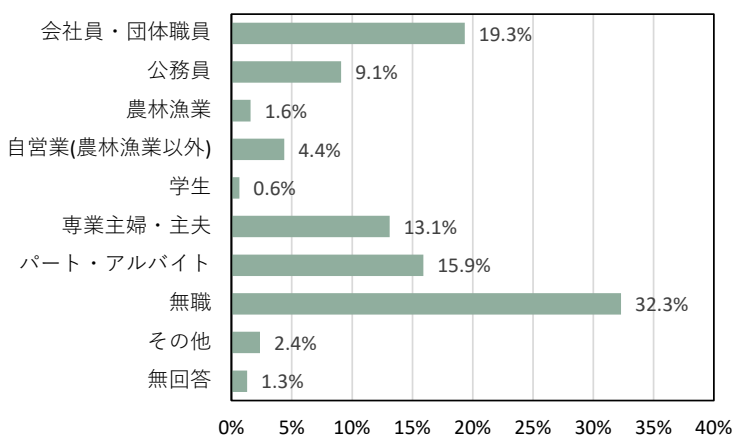
選択肢	回答数	割合
男性	606	43.4%
女性	732	52.4%
無回答	58	4.2%
計	1,396	100.0%



(2) 職業

N=1,396

選択肢	回答数	割合
会社員・団体職員	270	19.3%
公務員	127	9.1%
農林漁業	22	1.6%
自営業(農林漁業以外)	61	4.4%
学生	9	0.6%
専業主婦・主夫	183	13.1%
パート・アルバイト	222	15.9%
無職	451	32.3%
その他	33	2.4%
無回答	18	1.3%
計	1,396	100.0%

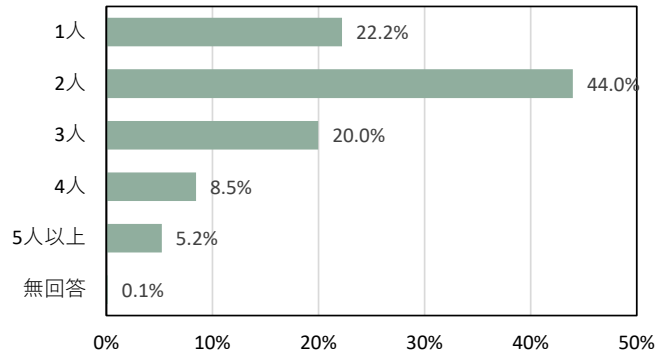


(3) 家族人数

設問：「あなたのご家庭は何人住まいですか？あなた自身も含めた人数でお答えください。」

N=1,396

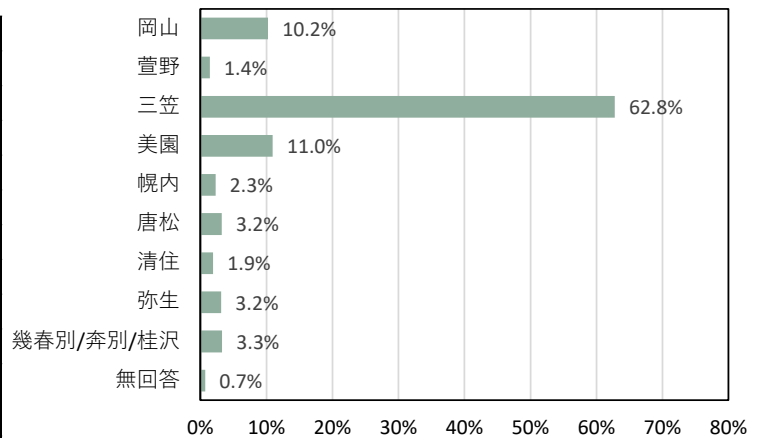
選択肢	回答数	割合
1人	310	22.2%
2人	614	44.0%
3人	279	20.0%
4人	118	8.5%
5人以上	73	5.2%
無回答	2	0.1%
計	1,396	100.0%



(4) 居住地区

N=1,396

選択肢	回答数	割合
岡山	143	10.2%
萱野	20	1.4%
三笠	876	62.8%
美園	153	11.0%
幌内	32	2.3%
唐松	45	3.2%
清住	27	1.9%
弥生	44	3.2%
幾春別/奔別/桂沢	46	3.3%
無回答	10	0.7%
計	1,396	100.0%



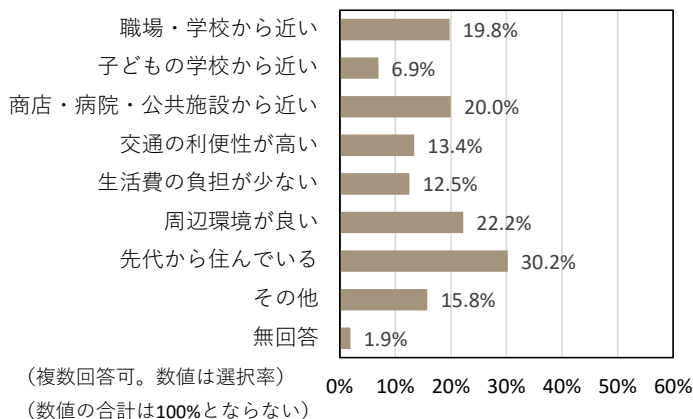
2.2.2 住まい

(1) 居住地区を選んだ理由

設問：「現在お住いの地区を選んだ理由について教えてください。（主な理由2つに○）」

N=1,396

選択肢	回答数	選択率
職場・学校から近い	276	19.8%
子どもの学校から近い	97	6.9%
商店・病院・公共施設から近い	279	20.0%
交通の利便性が高い	187	13.4%
生活費の負担が少ない	175	12.5%
周辺環境が良い	310	22.2%
先代から住んでいる	422	30.2%
その他	220	15.8%
無回答	27	1.9%
有効回答数	1,396	

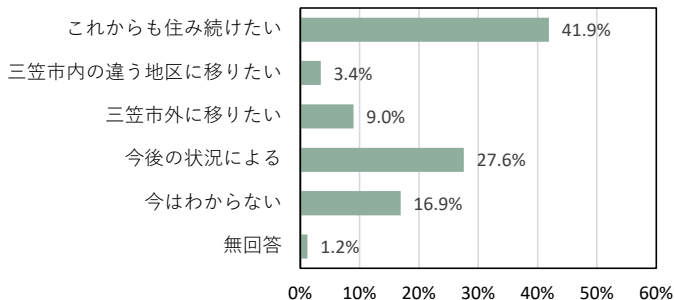


(2) 今後の居留意向

設問：「現在お住いの地区での今後の居留意向について教えてください。（1つに○）」

N=1,396

選択肢	回答数	割合
これからも住み続けたい	585	41.9%
三笠市内の違う地区に移りたい	48	3.4%
三笠市外に移りたい	125	9.0%
今後の状況による	385	27.6%
今はわからない	236	16.9%
無回答	17	1.2%
計	1,396	100.0%

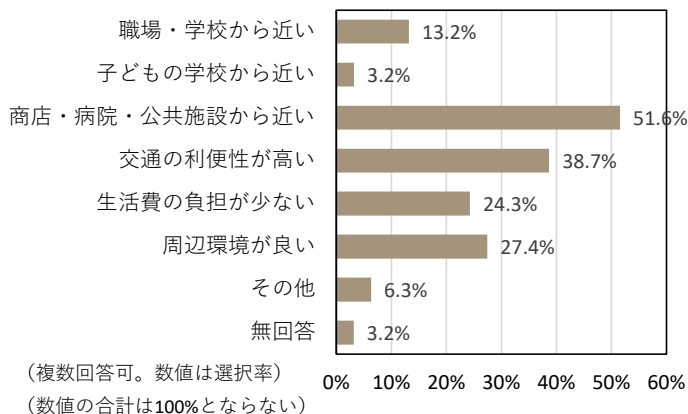


(3) 将来の生活環境の条件

設問：「将来の生活環境の条件として、何を優先しますか。（主なもの2つに○）」

N=1,396

選択肢	回答数	選択率
職場・学校から近い	184	13.2%
子どもの学校から近い	45	3.2%
商店・病院・公共施設から近い	720	51.6%
交通の利便性が高い	540	38.7%
生活費の負担が少ない	339	24.3%
周辺環境が良い	383	27.4%
その他	88	6.3%
無回答	44	3.2%
有効回答数	1,396	



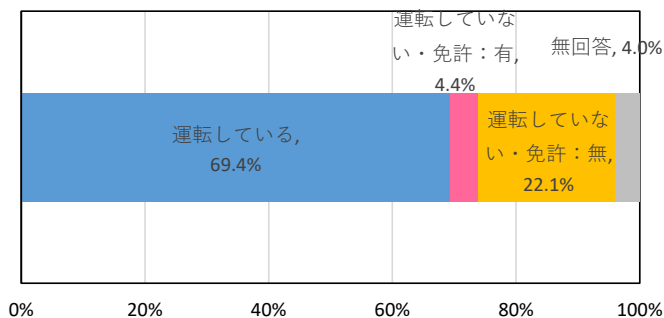
2.2.3 自動車利用

(1) 自動車運転免許の有無・普段の運転の有無

設問：「あなたは普段、自動車の運転をしていますか。運転していない方は、自動車運転免許の有無もお答えください。」

N=1,396

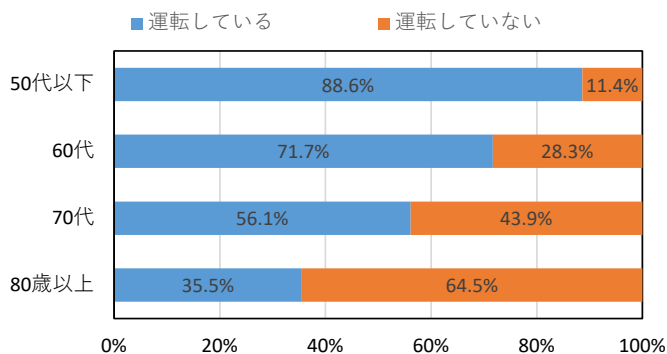
選択肢	回答数	割合
運転している	969	69.4%
運転していない・免許：有	62	4.4%
運転していない・免許：無	309	22.1%
無回答	56	4.0%
合計	1,396	100.0%



クロス集計：年齢別の自動車運転状況

選択肢	回答数		割合	
	運転している	運転していない	運転している	運転していない
50代以下	499	64	88.6%	11.4%
60代	195	77	71.7%	28.3%
70代	210	164	56.1%	43.9%
80歳以上	59	107	35.5%	64.5%
計	963	412	70.0%	30.0%

無回答を除く集計

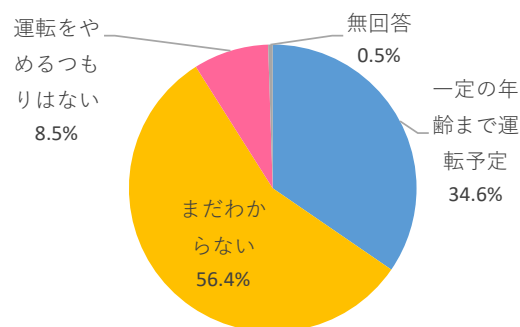


(2) 将来の運転意向

設問：「今後何歳ぐらいまで、自動車を運転する予定ですか。」

N=969

選択肢	回答数	割合
一定の年齢まで運転予定	335	34.6%
まだわからない	547	56.4%
運転をやめるつもりはない	82	8.5%
無回答	5	0.5%
計	969	100.0%

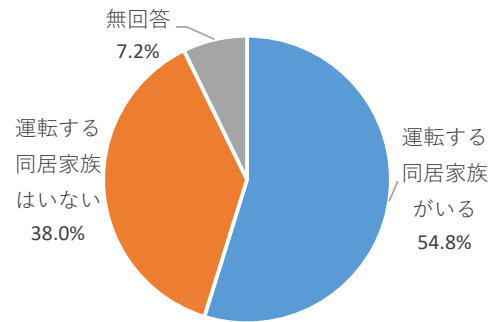


(3) 家族の運転の有無

設問：「あなた以外に同居されているご家族の中に、普段自動車を運転する人はいますか。」

N=1,396

選択肢	回答数	割合
運転する同居家族がいる	765	54.8%
運転する同居家族はいない	530	38.0%
無回答	101	7.2%
計	1,396	100.0%

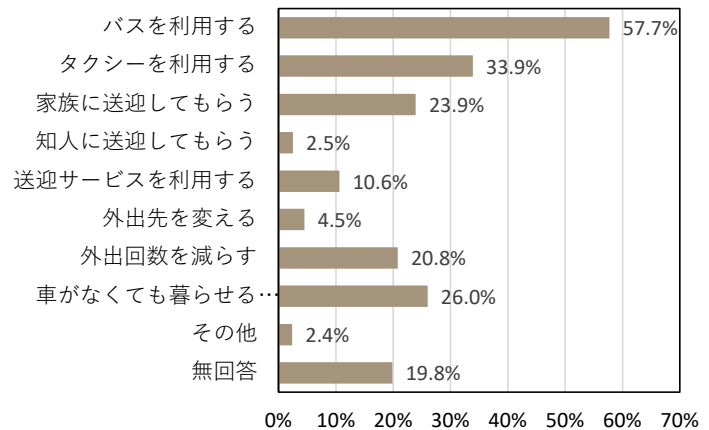


(4) 運転できなくなった時の交通行動

設問：「なんらかの理由で自動車が運転できなくなったとしたら、日々の移動手段や生活行動はどのようにしますか。(いくつでも可)」

N=1,396

選択肢	回答数	選択率
バスを利用する	806	57.7%
タクシーを利用する	473	33.9%
家族に送迎してもらう	334	23.9%
知人に送迎してもらう	35	2.5%
送迎サービスを利用する	148	10.6%
外出先を変える	63	4.5%
外出回数を減らす	290	20.8%
車がなくても暮らせる地域に引っ越す	363	26.0%
その他	33	2.4%
無回答	277	19.8%
有効回答数	1,396	



(複数回答可。数値は選択率)
(数値の合計は100%とならない)

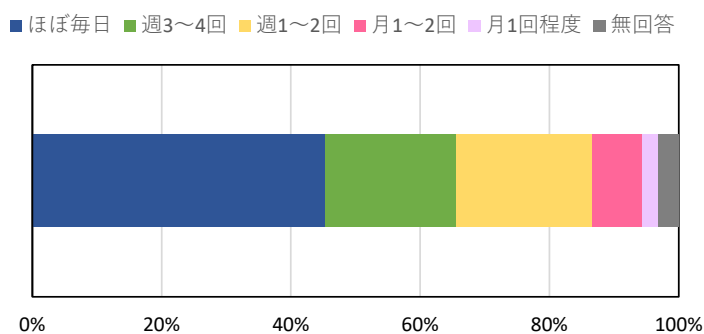
2.2.4 外出実態

(1) 外出の頻度

設問：「あなたは普段どれぐらいの頻度で外出していますか。」

N=1,396

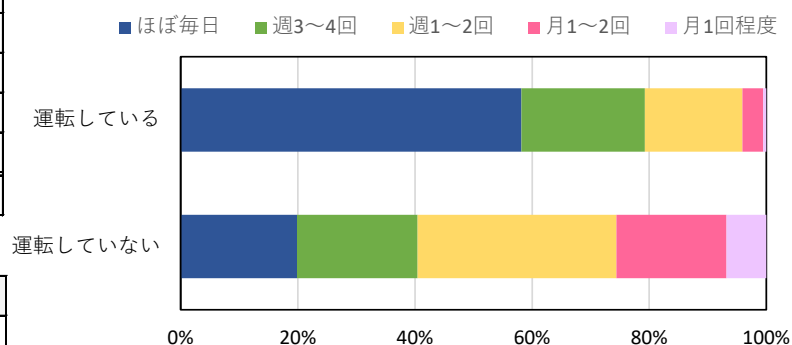
選択肢	回答数	割合
ほぼ毎日	632	45.3%
週3~4回	283	20.3%
週1~2回	295	21.1%
月1~2回	108	7.7%
月1回程度	33	2.4%
無回答	45	3.2%
計	1,396	100.0%



クロス集計：自動車運転有無別の外出の頻度（無回答を除く集計）

選択肢	運転している	運転していない
ほぼ毎日	555	76
週3~4回	201	79
週1~2回	159	130
月1~2回	34	72
月1回程度	5	26
計	954	383

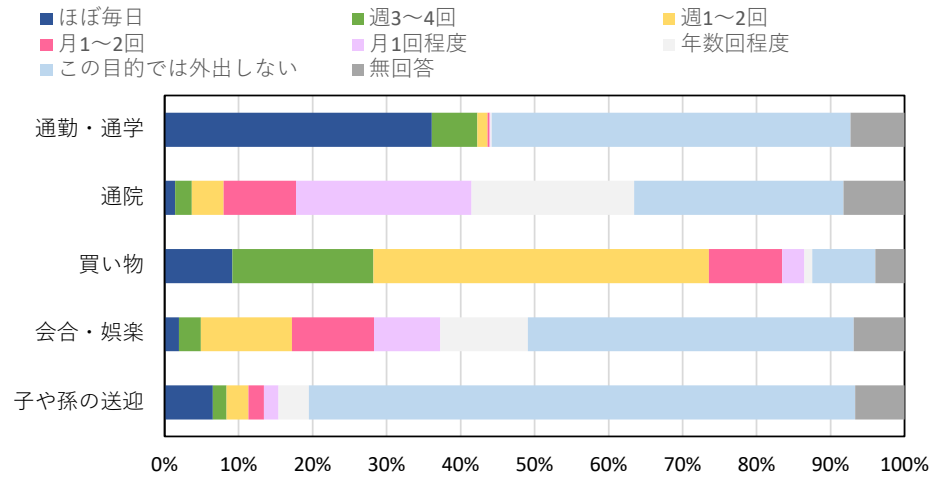
選択肢	運転している	運転していない
ほぼ毎日	58.2%	19.8%
週3~4回	21.1%	20.6%
週1~2回	16.7%	33.9%
月1~2回	3.6%	18.8%
月1回程度	0.5%	6.8%
計	100.0%	100.0%



(2) 移動目的別の外出頻度

選択肢	通勤・通学	通院	買い物	会合・娯楽	子や孫の送迎
ほぼ毎日	504	20	128	27	91
週3～4回	86	31	266	41	26
週1～2回	19	60	633	172	41
月1～2回	4	137	138	155	29
月1回程度	2	331	42	125	28
年数回程度	2	307	15	165	57
この目的では外出しない	677	395	119	615	1,031
無回答	102	115	55	96	93
計	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396

選択肢	通勤・通学	通院	買い物	会合・娯楽	子や孫の送迎
ほぼ毎日	36.1%	1.4%	9.2%	1.9%	6.5%
週3～4回	6.2%	2.2%	19.1%	2.9%	1.9%
週1～2回	1.4%	4.3%	45.3%	12.3%	2.9%
月1～2回	0.3%	9.8%	9.9%	11.1%	2.1%
月1回程度	0.1%	23.7%	3.0%	9.0%	2.0%
年数回程度	0.1%	22.0%	1.1%	11.8%	4.1%
この目的では外出しない	48.5%	28.3%	8.5%	44.1%	73.9%
無回答	7.3%	8.2%	3.9%	6.9%	6.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

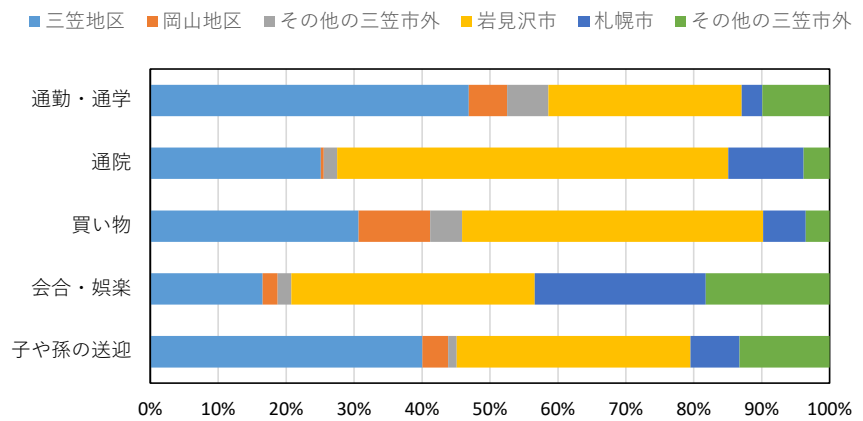


(3) 移動目的別の行き先

注：「この目的では移動しない」など行き先無回答を除く集計

選択肢	通勤・通学	通院	買い物	会合・娯楽	子や孫の送迎
三笠地区	308	281	574	156	127
岡山地区	37	5	197	21	12
その他の三笠市外	40	22	88	19	4
岩見沢市	187	645	830	338	109
札幌市	20	124	117	238	23
その他の三笠市外	65	43	66	172	42

選択肢	通勤・通学	通院	買い物	会合・娯楽	子や孫の送迎
三笠地区	46.9%	25.1%	30.7%	16.5%	40.1%
岡山地区	5.6%	0.4%	10.5%	2.2%	3.8%
その他の三笠市外	6.1%	2.0%	4.7%	2.0%	1.3%
岩見沢市	28.5%	57.6%	44.3%	35.8%	34.4%
札幌市	3.0%	11.1%	6.3%	25.2%	7.3%
その他の三笠市外	9.9%	3.8%	3.5%	18.2%	13.2%

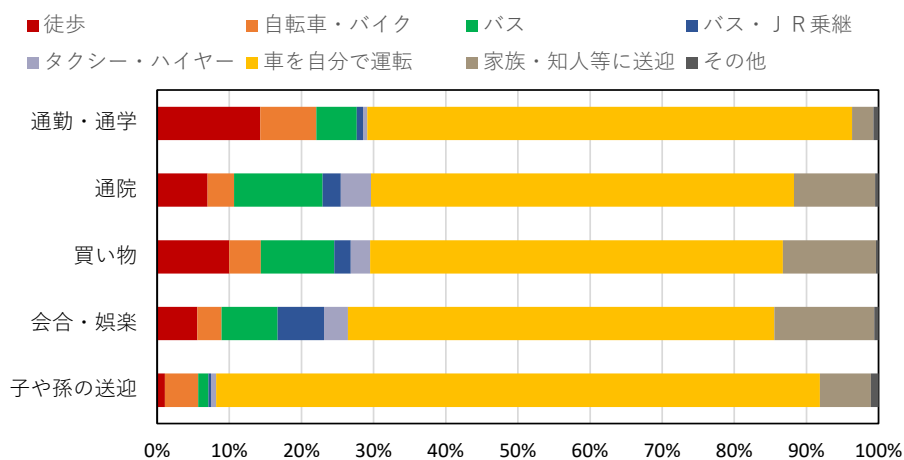


(4) 移動目的別の交通手段

注：「この目的では移動しない」など交通手段無回答を除く集計

選択肢	通勤・通学	通院	買い物	会合・娯楽	子や孫の送迎
徒歩	97	72	145	45	3
自転車・バイク	53	38	64	27	13
バス	38	127	148	63	4
バス・JR乗継	6	26	33	52	1
タクシー・ハイヤー	4	43	39	27	2
車を自分で運転	457	606	832	478	236
家族・知人等に送迎	20	116	188	112	20
その他	5	5	5	5	3

選択肢	通勤・通学	通院	買い物	会合・娯楽	子や孫の送迎
徒歩	14.3%	7.0%	10.0%	5.6%	1.1%
自転車・バイク	7.8%	3.7%	4.4%	3.3%	4.6%
バス	5.6%	12.3%	10.2%	7.8%	1.4%
バス・JR乗継	0.9%	2.5%	2.3%	6.4%	0.4%
タクシー・ハイヤー	0.6%	4.2%	2.7%	3.3%	0.7%
車を自分で運転	67.2%	58.7%	57.2%	59.1%	83.7%
家族・知人等に送迎	2.9%	11.2%	12.9%	13.8%	7.1%
その他	0.7%	0.5%	0.3%	0.6%	1.1%



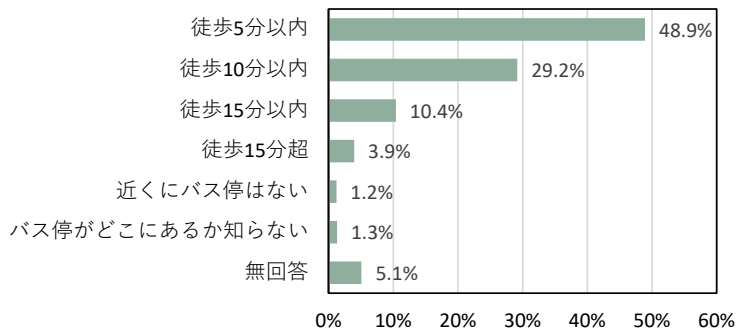
2.2.5 公共交通利用

(1) バス停アクセス

設問：「自宅から最寄りのバス停まで、徒歩で何分ほどかかりますか。」

N=1,396

設 問	回答数	割合
徒歩5分以内	683	48.9%
徒歩10分以内	407	29.2%
徒歩15分以内	145	10.4%
徒歩15分超	55	3.9%
近くにバス停はない	17	1.2%
バス停がどこにあるか知らない	18	1.3%
無回答	71	5.1%
計	1,396	100.0%



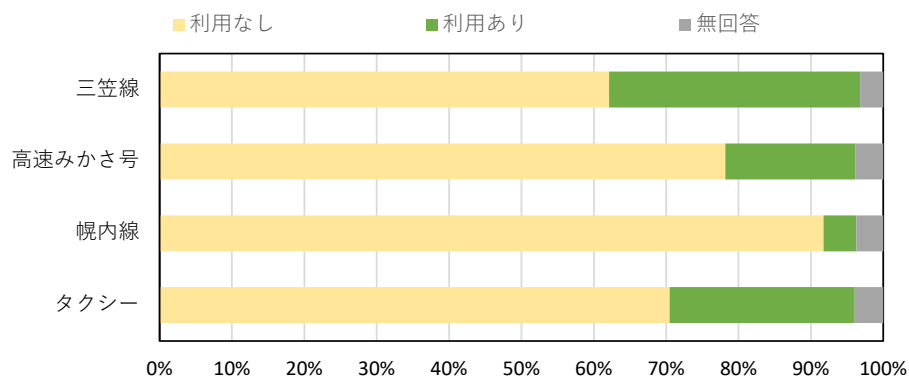
(2) 路線バス等の利用有無

路線バス（中央バス三笠線、中央バス高速みかさ号、三笠市営バス幌内線）とタクシーについて。

設問：「ここ1年間の利用がない方は「無」に、ある方は「有」に○を」

選択肢	中央バス		市営バス	タクシー
	三笠線	高速みかさ号	幌内線	
利用なし	867	1,091	1,281	984
利用あり	484	251	63	357
無回答	45	54	52	55
計	1,396	1,396	1,396	1,396

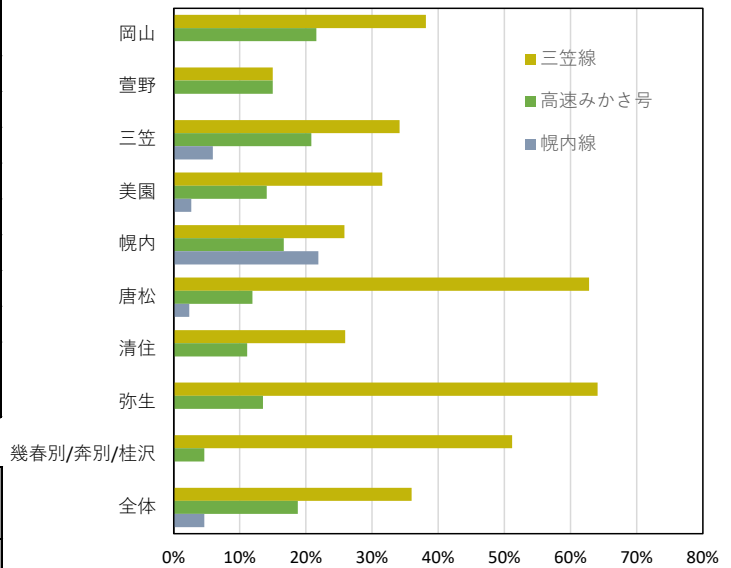
選択肢	中央バス		市営バス	タクシー
	三笠線	高速みかさ号	幌内線	
利用なし	62.1%	78.2%	91.8%	70.5%
利用あり	34.7%	18.0%	4.5%	25.6%
無回答	3.2%	3.9%	3.7%	3.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



クロス集計：自動車運転有無別の外出の頻度（無回答を除く集計）

「利用あり」の回答数

居住地区	中央バス		市営バス
	三笠線	高速みかさ号	幌内線
岡山	53	30	0
萱野	3	3	0
三笠	290	176	50
美園	47	21	4
幌内	8	5	7
唐松	27	5	1
清住	7	3	0
弥生	25	5	0
幾春別/奔別/桂沢	22	2	0
計	482	250	62



「利用あり」の割合

居住地区	中央バス		市営バス
	三笠線	高速みかさ号	幌内線
岡山	38.1%	21.6%	0.0%
萱野	15.0%	15.0%	0.0%
三笠	34.2%	20.8%	5.9%
美園	31.5%	14.1%	2.7%
幌内	25.8%	16.7%	21.9%
唐松	62.8%	11.9%	2.4%
清住	25.9%	11.1%	0.0%
弥生	64.1%	13.5%	0.0%
幾春別/奔別/桂沢	51.2%	4.7%	0.0%
全体	36.0%	18.8%	4.7%

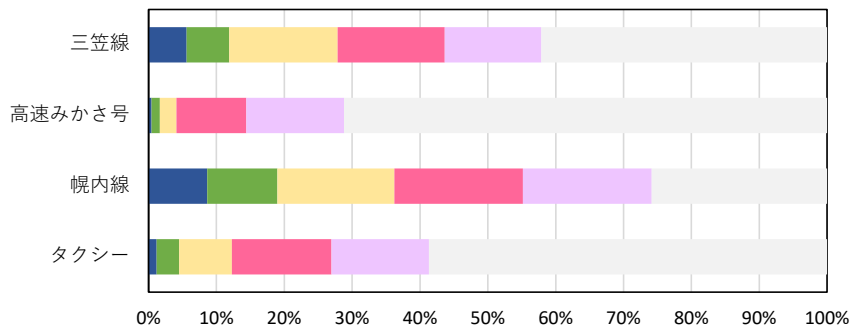
(3) 路線バス等の利用頻度

注：「ここ1年間利用していない」など頻度の無回答を除く集計

選択肢	中央バス		市営バス	タクシー
	三笠線	高速みかさ号	幌内線	
ほぼ毎日	26	1	5	4
週3~4回	29	3	6	11
週1~2回	74	6	10	26
月1~2回	73	25	11	49
月1回程度	66	35	11	48
年数回程度	195	173	15	196

選択肢	中央バス		市営バス	タクシー
	三笠線	高速みかさ号	幌内線	
ほぼ毎日	5.6%	0.4%	8.6%	1.2%
週3~4回	6.3%	1.2%	10.3%	3.3%
週1~2回	16.0%	2.5%	17.2%	7.8%
月1~2回	15.8%	10.3%	19.0%	14.7%
月1回程度	14.3%	14.4%	19.0%	14.4%
年数回程度	42.1%	71.2%	25.9%	58.7%

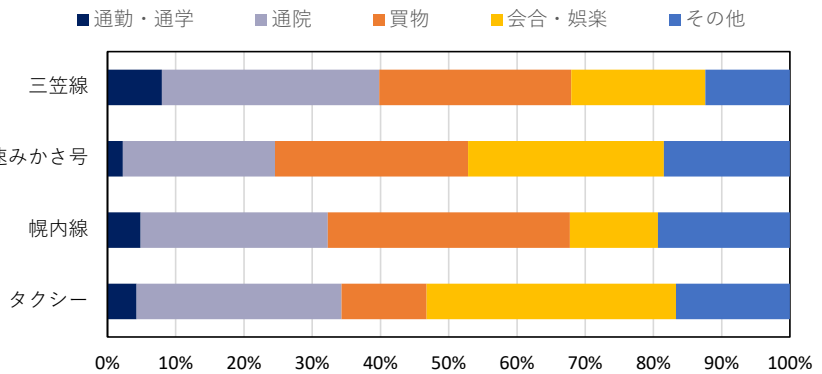
■ ほぼ毎日 ■ 週3~4回 ■ 週1~2回 ■ 月1~2回 ■ 月1回程度 ■ 年数回程度



(4) 路線バス等の利用目的

注：「ここ1年間利用していない」など利用目的の無回答を除く集計

選択肢	中央バス		市営バス 幌内線	タクシー	選択肢	中央バス		市営バス 幌内線	タクシー
	三笠線	高速みかさ号				三笠線	高速みかさ号		
通勤・通学	45	6	3	15	通勤・通学	8.0%	2.3%	4.8%	4.2%
通院	180	59	17	106	通院	31.9%	22.3%	27.4%	30.0%
買物	159	75	22	44	買物	28.1%	28.3%	35.5%	12.5%
会合・娯楽	111	76	8	129	会合・娯楽	19.6%	28.7%	12.9%	36.5%
その他	70	49	12	59	その他	12.4%	18.5%	19.4%	16.7%

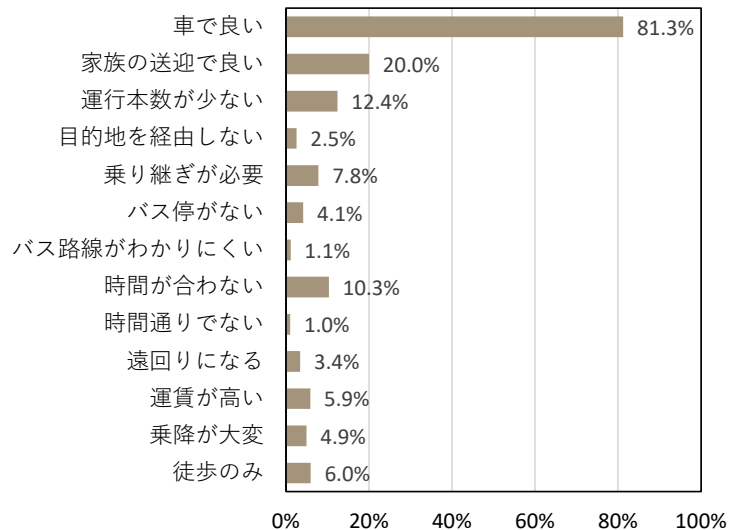


(5) 路線バスを利用しない理由

設問：「ここ1年間でどの路線バスも利用していなかった方」にお聞きします。バスを利用しなかった理由を教えてください。」

注：「ここ1年間利用している方」も含め、回答している方全てで集計

選択肢	回答数	選択率
車で良い	707	81.3%
家族の送迎が良い	174	20.0%
運行本数が少ない	108	12.4%
目的地を経由しない	22	2.5%
乗り継ぎが必要	68	7.8%
バス停がない	36	4.1%
バス路線がわかりにくい	10	1.1%
時間が合わない	90	10.3%
時間通りでない	9	1.0%
遠回りになる	30	3.4%
運賃が高い	51	5.9%
乗降が大変	43	4.9%
徒歩のみ	52	6.0%
無回答	18	2.1%
有効回答数	870	



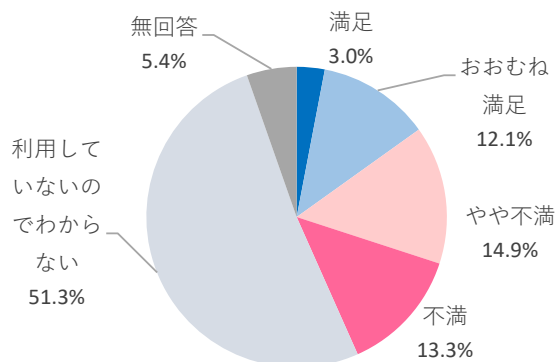
(複数回答可。数値は選択率)
(数値の合計は100%とならない)

(6) 市内の路線バスの満足度

設問：「現在の三笠市内の路線バスの満足度についてお聞きします。（1つに○）」

N=1,396

選択肢	回答数	割合
満足	42	3.0%
おおむね満足	169	12.1%
やや不満	208	14.9%
不満	186	13.3%
利用していないのでわからない	716	51.3%
無回答	75	5.4%
計	1,396	100.0%



(7) 路線バスの運行が無くなった場合

設問：「三笠市内の路線バスの運行が無くなると困りますか。（1つに○）」

N=1,396

選択肢	回答数	割合
利用していないので困らない	238	17.0%
万が一のときのために運行がなくなると困る	700	50.1%
たまに利用するので運行がなくなると困る	231	16.5%
普段から利用するので運行がなくなると困る	182	13.0%
無回答	45	3.2%
計	1,396	100.0%



(8) 三笠 IC でのパークアンドバスライド

設問：「三笠インターチェンジ周辺に都市間高速バスの停留所が設置され、付近にバス停のほか専用駐車場が整備された場合、ご家族のなかで最も利用が想定される方の頻度と目的をお答えください。（それぞれ1つに○）」

注：利用目的は「利用しない」を除く集計

N=1,396

選択肢	回答数	割合
ほぼ毎日	27	1.9%
週に数回	44	3.2%
月1回程度	140	10.0%
年数回程度	454	32.5%
利用しない	585	41.9%
無回答	146	10.5%
計	1,396	100.0%

N=811

選択肢	回答数	割合
通勤	12	1.5%
通学	35	4.3%
通院	141	17.4%
その他	468	57.7%
無回答	155	19.1%
計	811	100.0%

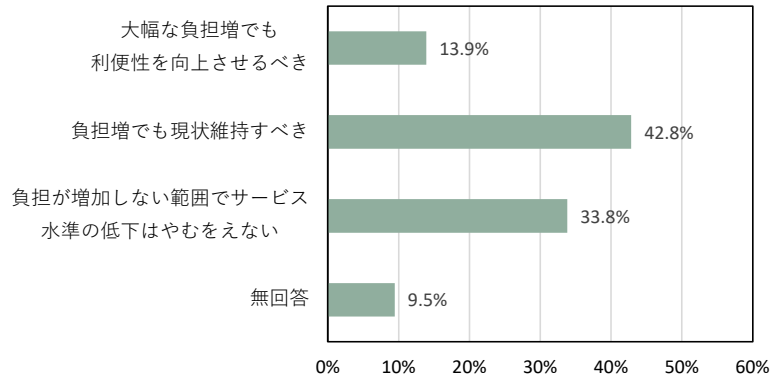
2.2.6 施策の方向性

(1) 公共交通維持と市民負担の考え方

設問：「現状の利用者数の推移では、運行事業者の努力だけでは、公共交通を維持存続することが難しい状況になる恐れがあります。今後、市民の負担を増やさざるを得なくなった場合、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。」

N=1,396

選択肢	回答数	割合
大幅な負担増でも 利便性を向上させるべき	194	13.9%
負担増でも現状維持すべき	598	42.8%
負担が増加しない範囲でサービス 水準の低下はやむをえない	472	33.8%
無回答	132	9.5%
計	1,396	100.0%

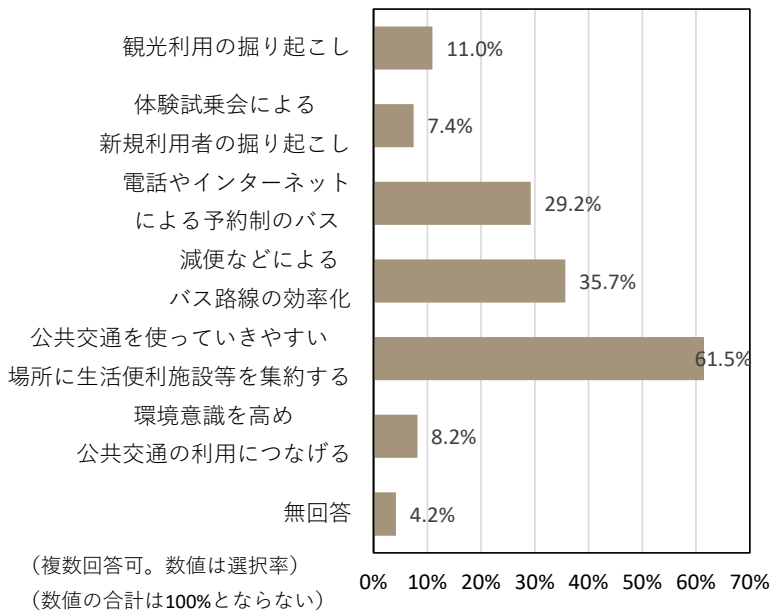


(2) 必要と考える取り組み

設問：「今後の三笠市の持続可能な公共交通体系の構築に向けて、これから必要だと思う「取り組み」を選んでください。(いくつでも可)」

N=1,396

設問	回答数	選択率
観光利用の掘り起こし	153	11.0%
体験試乗会による 新規利用者の掘り起こし	104	7.4%
電話やインターネット による予約制のバス	408	29.2%
減便などによる バス路線の効率化	498	35.7%
公共交通を使っていきやすい 場所に生活便利施設等を集約する	858	61.5%
環境意識を高め 公共交通の利用につなげる	114	8.2%
無回答	58	4.2%
有効回答数	1,396	

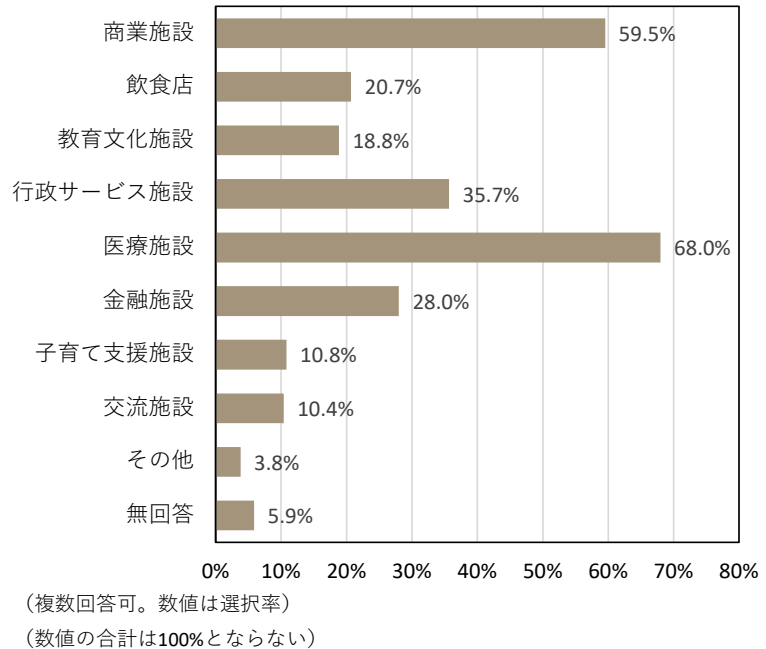


(3) 中心拠点に必要な施設

設問：「三笠市は人口の減少が予測されており、これからも安心して住み続けられるまちづくりに向けて、中心となる拠点の形成が必要です。中心となる拠点にあなたが必要と考える施設を教えてください。（必要と考えるもの3つに○）」

N=1,396

選択肢	回答数	選択率
商業施設	831	59.5%
飲食店	289	20.7%
教育文化施設	263	18.8%
行政サービス施設	498	35.7%
医療施設	949	68.0%
金融施設	391	28.0%
子育て支援施設	151	10.8%
交流施設	145	10.4%
その他	53	3.8%
無回答	82	5.9%
有効回答数	1,396	



(4) 自由意見

設問：「三笠市の公共交通に対するご意見がありましたら、下欄にご記入ください。」

下表のとおり意見内容を分類整理した。

内容分類		意見数	代表的な意見（要約抜粋）
サービス維持	現状維持	11	・中央バス三笠線を今後減便するにしても、朝・夕方等は現状維持してほしい。
	バスの必要性	78	・子どもが学生になったら、バスを利用するので、バスを廃止にしないでほしい。なんとか維持してほしい。 ・公共交通（バス）が、運行していないと通勤できなくなるので、市外へ移り住まなくてはならない。私のような方もたくさんいると思う。いつまでも運転できると限らないので、公共交通（バス）は必要。 ・高齢化が進む中、免許を返納する人も増えるのに、その人たちの足を考えた場合、どうしても必要であると思う。 ・人口減・利用者減により、民間バスは赤字による減便はやむを得ないと思うが、今以上減ると車のない人々は生活ができなくなる。何とか病院、買い物に行けるよう、補助金で現状通りのバス運行を続けて欲しい。
	バスの乗車率	21	・市営バスの見直しを。いつもガラガラで運行している。 ・中央バス等の乗客も少ないので今以上の増便は望めません。三笠の市営バス等の充実を図り、もっと市民の人が利用したくなるように市民にアピールする取り組みも必要だと思う。気軽に利用したくなる取り組みを。
	道路	24	・道路等の整備、冬の除雪等を行い、常に他市町に行けることが良い。 ・道路が悪いのに補修されず、（イオン周辺）乗心地がとても悪い。 ・せっかく三笠にインターがあるので、ぜひ駐車場・停留場があれば子どもたちも通勤や通学ができ、三笠からでも通えると思う。

内容分類		意見数	代表的な意見（要約抜粋）
利便性	料金	30	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納した場合、バスやタクシーの無料券の配布は考えていないのか？ ・回数券の種類がなくなることにより、毎回両替をしなければならず、とても不便だ。回数券の販売をしないなら、運賃も100円単位にしてほしい。
	時間	110	<ul style="list-style-type: none"> ・始発が遅いので、通学時間に合わない。岩見沢まで車で送迎しなければならない。 ・中央バスの早朝、午後7時以降は一時間一本で良いが、特に人が多く乗る時間帯、特に岩見沢から高校生が帰る時間帯、満員で身動きができない。一時間に二本にしてもらいたい。 ・燃料高騰により、三笠線バスの最終便が一時間早くなってしまい、札幌から間に合わなく残念に思っています。せめて平日だけでも。 ・岩見沢に向かう通勤や通学時間帯のバスが少なくて困るので、この時間帯のバスを増やして欲しい。特に始発のバスがJRとの時間にあっていないので、札幌までの通勤は難しい。部活をしている子供のため、夏の間だけでも岩見沢からの帰宅の便は21時や22時台を運行してほしい。 ・最低でも一時間に二本は走らせてほしい。土日も仕事の時があり、平日と同じ、朝一番のバスを走らせてほしい。 ・バスの利用者を増やしたいのなら、便数をコロナ前に戻してほしい。今の状態では、通勤に利用している者にとっては、とても厳しい。タクシーの利用や待ち時間増でとても負担が増えている。 ・通勤でバスをほぼ毎日利用している。令和4年4月から土日祝日の13:29市民会館発岩見沢行きが無くなって、仕事時間を短縮せざるを得ない。これ以上減便されると仕事をやめなければならない。もっと減便が増えると市外に引っ越してしまう人も増えてしまう。
	路線	34	<ul style="list-style-type: none"> ・幌内地区等への市営バスの運行は、住民にとって助かる。桂沢方面への運行もあれば住民が利用できるし、観光する人も利用できて良いと思う。 ・三笠の市営バスがイオンにも行ったらもっと利用する人が増え便利になると思う。 ・病院と市内をまわるバス等があったら良い。
	バス停・乗り継ぎ	29	<ul style="list-style-type: none"> ・市営バスと中央バスの乗り継ぎなどを考えて時間設定してほしい。 ・年を重ねて歩けなくなったときはせめて自宅から徒歩1.2分の所にバス停があると助かります。 ・JRとの接続が悪く、待つ時間が多いので利用が遠のいてしまった。三笠市内を移動したい人と、岩見沢や峰延など駅に行くバスが分かれていたら通勤などは利用しやすいと感じる。 ・市営バスの乗車の停留所は今の状態でも良いと思うが、降りるところを自由にしてほしい。たとえば家の近く、買物の店の近くなど。
	車両	29	<ul style="list-style-type: none"> ・足の不自由な人でも楽に乗降できる公共交通があると大変ありがたい。高齢の人には必要なことではないかと思う。 ・郊外は利用者も少ないのでワゴン車等の小型車に切り替え、中心街を行き来するバスについてはマイクロバスを使用する等、コストダウンすると良い。

内容分類		意見数	代表的な意見（要約抜粋）
利便性	交通システム	42	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りやバス停までも遠いので予約制などの乗り合いバス（小型の車軸等を利用して）などで家の近くまで乗れる安価なサービスがあればよい ・インターネットのできないお年寄りが多い三笠では無理だと思います。ネット予約は無理です。 ・市内の子どものほとんどが高校進学すると市外へ通学するので、通学専用バスが三笠市で運営して欲しい。 ・三笠中央公園などでイベントがあり、行きたいがバスの時間と合わない。送迎バスなどあればイベントに参加したい。
	情報・案内	6	<ul style="list-style-type: none"> ・中央バス以外の認知度が低すぎる。周知方法を考えてほしい。 ・各戸にバス時刻表を配布してほしい。
	まちづくり	30	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の維持・合理化には、住宅（特に市営住宅）の集約化が必要不可欠であり、早急に取り組むべき。唐松から幾春別方面、幌内住吉町から北星町・金谷町方面の市営住宅の三笠市外への集約を図るべき。 ・バスがほぼ運行していない地区があり不便である。近くにバス停、店、病院等がなく生活環境が整っていない。「公共」交通機関の充実を願う。
利用ニーズ	冬季のバス利用	22	<ul style="list-style-type: none"> ・雪が多く、バス運休が多く不便だ。道路の排雪が丁寧でなく、車の交通にも危険を感じることがよくある。 ・冬道を運転するのが好きではないので、公共交通を利用したいが、岩見沢の職場まで通えるバス停がないので、マイカーで通勤をせざるを得ない。
	通学	27	<ul style="list-style-type: none"> ・三笠には普通科高校が無いので市外に出るしかないが、部活をしていると時間が合わずバス利用が出来ない。すると定期は割高になるので、結局、送迎が必要になる。 ・昔は子育てのプランにとっても魅力を感じていたが、実際住んでみると通学も親が送り迎えすることがほとんど。バスも不便で使えず、通学路も危険。雪山を乗り越えてバスがいつ来るか吹雪の中で待つこともさせてみたが、危険過ぎた。冬だけでも岡山にスクールバスを出してほしい。
	通勤	31	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関（バス）がなくなってしまうと通勤に使用しているため困る。家族の送り等も難しい為、職場に近いところ（市外）に引越す必要が出てくる。タクシーの頻度が多くなると高額で大変。もし同じ考えの人がいたら市外に出る人が多くなり、より人口が減ってしまう気がする。
	通院	27	<ul style="list-style-type: none"> ・車を運転できなくなると三笠では生活できない。まともな医療を受けたいのであれば車を運転して岩見沢に行くしかない。しかしバスの本数も限られ、バス停まで行くことも困難（特に冬場）であり、高齢者は三笠の病院を使っている。 ・オンライン診療や訪問診療、食材日用品の配達も考えられるが、車を運転できない高齢者が生活をできる町にならないとならない。
	買物	27	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出機会や外出意欲を奪わないようなまちづくりが必要だ。病院の近くに買い物や交流ができる場所をつくる、そこに行くための送迎車を運行するなど、バスに頼らなくても移動できる方法を考えてほしい。 ・農協だけではとても不便、物価が高いものもありますが、種類や物が少ない。三笠で買い物をしたいが、いろいろな面で岩見沢方面に行かなくてはいけない。お金を三笠に落とすだけでもできない。

内容分類		意見数	代表的な意見（要約抜粋）
利用ニーズ	高齢者	29	<ul style="list-style-type: none"> ・私たち高齢者はバスだけが交通手段なので、これ以上本数が減ることがないようにお願いしたい。 ・高齢になるとバスの乗り降りも大変なので、タクシー・ハイヤーをもっと利用しやすくしてはどうか。回数券や割引券など。
	コロナ	8	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが減り、コロナ禍なのに満員のバスで通勤しており毎日不安。
	行政	36	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に限らず、アンケートは必ず結果を公にしてほしい。 ・石炭の地下ガス化や新しく作っても利用されないような施設にお金を使うくらいなら、中央バスが減便された美園以降の交通方法の充実や保育所やスポーツセンター等の修繕など市民が本当に利用するものにお金を使うべき。市民負担を増やす議論の前に、市の事業を整理し無駄を削減する方が先ではないか。 ・人口減少のため、公共交通を今の水準で維持できないことは理解できる。コンパクトシティにもメリット、デメリットがあり、三笠市にあった形は何なのか、他市町村の事例も参考によく考える必要がある。
	自動車	64	<ul style="list-style-type: none"> ・今後自家用車が使えなくなった場合、夫が障がい者なので公共交通を利用することが困難なため、困っている。 ・今は車を利用しているが、いずれはバス利用になると思うので、なくなるのは不便と思う。 ・一時間に一本のバスの運行をこれ以上減らされると、将来の運転免許返納も消極的になりそう。 ・バス停まで歩けないため、バスに乗れない。ハイヤーを使い、一回5千円くらいかかる。冬、病院へもリハビリも行けない。割引券を多くして欲しい。 ・公共交通が少ない三笠市では、永住者・移住者に自動車免許の助成、カーシェアリングや、子どもの多い家庭には自動車の貸与等した方が良いと思う。大阪府池田市で実施例がある。
その他	その他	36	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に公共交通を利用する方、利用しよう・したい方から要望要求を聞いて、できることを実施していければと思う。 ・とにかく、住みづらい。何をするのも不便。
	わからない	11	<ul style="list-style-type: none"> ・利用機会がほぼないので、わかりません。

第3章 バス利用実態調査

3.1 調査の内容

3.1.1 調査の概要

(1) 調査の目的

市内公共交通であるバス3路線（北海道中央バス三笠線、高速みかさ号、三笠市営バス幌内線）を対象に、乗客の利用実態を把握することを目的とする。

(2) 調査の構成

バス停ごとの乗車客数と降車客数を記録する「乗降客数調査」と、乗客に利用目的等を調査する「利用実態把握（アンケート）」の2つの調査手法を組み合わせ実施した。

(3) 対象路線

表 3-1 対象路線

	路線	起終点	便数（平日）
①	北海道中央バス 三笠線	岩見沢ターミナル～幾春別町	13 往復
②	北海道中央バス 高速みかさ号	札幌駅前ターミナル ～（栗沢・岩見沢）～三笠市民会館	2 往復
③	三笠市営バス 幌内線	三笠小学校～幌内1丁目	10 往復

(4) 調査日

2022年9月6日（火）

9月上旬の平日のうち特異日でないこと（沿線の医療機関の休診日でないこと、学校休校日でないこと、公民館等でイベントを実施予定がないこと）を確認し、上記日程で設定した。

当日の天候は曇り。岩見沢観測局の最低気温は21.4℃、最高気温は25.1℃であった。

(5) 対象区間・対象者

①三笠線

【乗降客数調査】

- ・全区間の停留所別の乗車客数／降車客数を把握した。
- ・一般、子供（小学生以下）、中高生の3区分でカウントした。

【利用実態把握（アンケート）】

- ・三笠市内で乗車または降車する乗客を対象に、利用実態を把握した。幼児・小学生以下と登下校の中学・高校生は対象外とした。
- ・そのため、三笠市から岩見沢市へ向かう便については、三笠市内区間で乗車した乗客を対象にアンケートを行い、岩見沢市内区間で乗車した乗客はアンケート対象外とした。
- ・一方、岩見沢から三笠に向かう便については、全区間において乗車した乗客を対象にアンケートを行った。三笠市外で乗降する乗客は調査対象外であるが、岩見沢市内区間で乗車した乗客が岩見沢市内で降車するか乗車時には判別できないためである。

②高速みかさ号

【乗降客数調査】

- ・岩見沢ターミナルから三笠市内の区間について、停留所別の乗車客数／降車客数を把握した。
- ・一般、子供（小学生以下）、中高生の3区分でカウントした。

【利用実態把握（アンケート）】

- ・三笠市内で乗車または降車する乗客を対象に、利用実態を把握する。ただし、幼児・小学生以下は対象外とした。
- ・そのため、三笠線と同様に、三笠市から岩見沢市へ向かう便については、三笠市内区間で乗車した乗客を対象にアンケートを行い、岩見沢市内区間で乗車した乗客はアンケート対象外とした。
- ・また、岩見沢から三笠に向かう便については、岩見沢ターミナル発車時点での車内乗客および以降バス停で乗車した乗客を対象にアンケートを行う。三笠市外で乗降する乗客は調査対象外であるが、三笠市外で降車するか降車前に判別できないためである。

③三笠市営バス幌内線

【乗降客数調査】

- ・全区間の停留所別の乗車客数／降車客数を把握する。
- ・一般、子供（小学生以下）、中高生の3区分でカウントした。

【利用実態把握（アンケート）】

- ・乗降客を対象に利用実態を把握した。ただし、幼児・小学生以下は対象外とした。

3.1.2 調査の方法

(1) 調査方法「調査員による乗り込み調査」

調査員が調査対象区間のバスに乗車し、停留所別の乗降客数を記録するとともに、乗客への聞き取りまたはアンケートの配布・回収による利用実態の把握を行った。乗客数が少ない場合は、調査員が聞き取って乗客に代わって回答を記入する方法とし、乗客数が多い場合には乗客の乗車時にアンケートを配布し、降車口でアンケートを回収する方法をとった。



図 3-1 調査の様子

(2) 調査項目・調査票

調査項目は下表のとおり、調査票は次頁のとおりである。

表 3-2 調査項目

調査区分	主体区分	調査項目
利用実態把握 (アンケート)	乗客回答	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地の自治体名 (三笠市/岩見沢市/その他 (名称)) ・降車バス停留所 (名称) ・降車後の乗り継ぎ有無 (JR/他のバス/乗り継ぎ無し) ・降車後の最終目的地 (名称) ・この便の利用頻度 ・このバスが使えない場合の移動手段 ・年齢 (10代/20代/・・・/80代以上)
	調査員記入	<ul style="list-style-type: none"> ・系統/便番号 ・乗車バス停留所
乗降客数調査	調査員記入	<ul style="list-style-type: none"> ・各バス停での年齢3区分の乗車・降車人数 (年齢は「小学生以下」「中学・高校生」「成人」の3区分) (未就学児はカウントしない)

3.2 調査の結果

3.2.1 乗降者数

(1) 三笠線（北海道中央バス）

①便別の乗降客数

- ・三笠線の日乗降客数（乗車客数＋降車客数）は1,390人であった。
- ・一便平均の乗降客数は53.5人であった。
- ・最も多い便で乗降客数は88人、少ない便で18人であった。

表 3-3 三笠線の便別の乗降客数（乗降客数＝乗車客数＋降車客数）

便情報			乗降客数 (人)	内訳 (人)		
方 向	発時刻	着時刻		一般	学生	小人
【下り】 岩見沢ターミナル発 →幾春別町着	7:00	7:54	36	28	8	0
	7:40	8:39	66	60	6	0
	8:25	9:23	28	28	0	0
	9:30	10:28	48	48	0	0
	11:00	11:58	70	70	0	0
	12:00	12:58	68	68	0	0
	13:00	13:58	88	46	42	0
	14:30	15:28	68	36	32	0
	16:00	16:58	52	40	12	0
	17:00	17:59	78	46	30	2
	18:10	19:08	56	44	12	0
	19:10	20:08	30	26	4	0
	21:00	21:53	18	18	0	0
合計			706	558	146	2
【上り】 幾春別町※発 →岩見沢ターミナル着 ※第一便は美園市民 センター発	※6:45	7:26	42	24	18	0
	6:50	7:42	74	24	50	0
	7:30	8:28	60	60	0	0
	8:10	9:07	62	62	0	0
	9:00	9:57	86	84	2	0
	9:40	10:37	74	74	0	0
	10:40	11:37	40	40	0	0
	12:10	13:07	58	58	0	0
	13:10	14:07	34	34	0	0
	14:40	15:37	48	42	4	2
	16:10	17:07	36	32	4	0
	17:10	18:07	44	44	0	0
	18:40	19:37	26	20	6	0
合計			684	598	84	2
上下 合計			1,390	1,156	230	4
一便 平均			53.5	44.5	8.8	0.2

②停留所別の乗降客数

- ・「岩見沢ターミナル」での乗降客数が最も多く 269 人であり、うち学生が 77 人であった。
- ・次いで乗降客数が多いのは「三笠市民会館 (166 人)」「イオン三笠店南口 (103 人)」であった。

表 3-4 三笠線の停留所別の乗降客数

停留所 名称	乗車客数		降車客数		乗降客数	
	合計	うち学生	合計	うち学生	合計	うち学生
岩見沢ターミナル	179	61	90	16	269	77
4条西5丁目	15	0	65	15	80	15
4条西2丁目	46	2	44	0	90	2
中央通	3	0	13	1	16	1
裁判所前	5	0	2	0	7	0
4条橋	4	0	5	0	9	0
4条東13丁目	28	0	24	0	52	0
4条東15丁目	14	1	18	3	32	4
労災病院正門前	27	1	34	0	61	1
5条東17丁目	17	0	12	0	29	0
5条東18丁目	12	0	12	0	24	0
4条東18丁目	13	0	7	0	20	0
3条東18丁目	6	0	6	0	12	0
新東町入口	10	1	7	0	17	1
東町	2	0	1	0	3	0
三笠入口	10	0	18	7	28	7
三笠工業団地	0	0	2	0	2	0
岡山中島	2	0	4	0	6	0
岡山南	0	0	1	1	1	1
イオン三笠店南口	51	7	52	4	103	11
岡山小学校	20	2	15	2	35	4
岡山東	2	0	1	0	3	0
三笠IC入口	0	0	0	0	0	0
岡山1番地	0	0	0	0	0	0
地神宮	0	0	0	0	0	0
大里口	4	1	6	3	10	4
三笠小学校	5	1	6	2	11	3
宮本町	8	3	13	3	21	6
三笠市立病院前	34	7	50	16	84	23
三笠市民会館	69	7	97	23	166	30
三笠高校前	8	5	8	7	16	12
美園町	13	4	8	3	21	7
美園市民センター前	21	4	14	3	35	7
清住西	1	0	2	1	3	1
清住町	11	2	10	1	21	3
清松橋	0	0	0	0	0	0
栄町	13	3	10	2	23	5
唐松2丁目	7	1	7	1	14	2
唐松1丁目	2	0	2	0	4	0
春光町	2	0	1	0	3	0
藤枝町	1	0	2	0	3	0
弥生町	12	2	11	1	23	3
桜木町	0	0	0	0	0	0
千住町	9	0	6	0	15	0
幾春別4丁目	4	0	4	0	8	0
幾春別町	5	0	5	0	10	0
合計	695	115	695	115	1,390	230

③平均乗車密度

- ・平均乗車密度とは利用者数を始点から終点まで均した値であり、利用者ごとの乗車距離の合計をバス路線長で割ったものとなる。
- ・下り方向では、岩見沢ターミナル 13：00 発の便で平均乗車密度が最も多く 20.9 人であり、最大区間での乗車人数は 34 人であった。
- ・上り方向では、幾春別町 6：50 発の便で平均乗車密度が最も多く 20.9 人であり、最大区間での乗車人数は同じく 34 人であった。

表 3-5 三笠線の便別の平均乗車密度

便情報			最大区間の 乗車人数（人）	平均乗車密度 （人）
方 向	発時刻	着時刻		
【下り】 岩見沢ターミナル発 →幾春別町着	7:00	7:54	13	7.0
	7:40	8:39	27	10.8
	8:25	9:23	10	4.3
	9:30	10:28	17	9.4
	11:00	11:58	23	15.9
	12:00	12:58	24	10.9
	13:00	13:58	34	20.9
	14:30	15:28	27	18.6
	16:00	16:58	21	12.8
	17:00	17:59	28	16.1
	18:10	19:08	21	11.0
	19:10	20:08	12	6.0
	21:00	21:53	7	3.8
	下り 平均		20.3	11.3
【上り】 幾春別町※発 →岩見沢ターミナル着 ※第一便は美園市民 センター発	※6:45	7:26	19	13.1
	6:50	7:42	34	20.9
	7:30	8:28	24	13.2
	8:10	9:07	27	14.4
	9:00	9:57	24	14.7
	9:40	10:37	22	11.5
	10:40	11:37	10	4.3
	12:10	13:07	20	8.2
	13:10	14:07	8	4.6
	14:40	15:37	17	7.0
	16:10	17:07	14	7.7
	17:10	18:07	17	6.8
	18:40	19:37	10	5.7
	上り 平均		18.9	10.1
上下平均			19.6	10.7

④区間輸送人員

- ・バス停からバス停までの区間ごとの輸送人員を集計した。
- ・便平均の区間輸送人員は、岩見沢ターミナルから三笠市民会館まで 10 人を上回っているが、三笠市民会館からは 10 人を下回り、幾春別町に至るまで徐々に輸送人員は減少している。

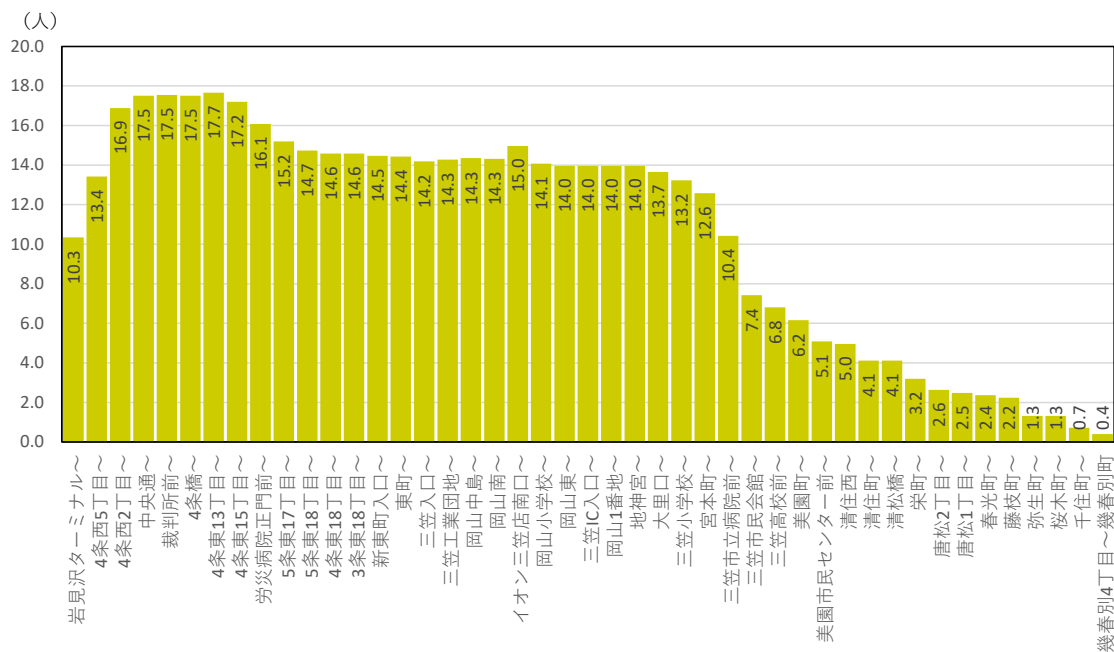


図 3-3 三笠線の便平均の区間輸送人員

注：岩見沢ターミナルから美園市民センターは上下 26 便の平均であるが、美園市民センター発が 1 便あるため、美園市民センターから幾春別町は上下 25 便の平均値である。

⑤午前の下り方向（岩見沢ターミナル発／幾春別行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・午前中に岩見沢ターミナルを出発する5便の合計について、停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・乗車客数は合計で124人である。降車客数もそれに等しい。
- ・乗車客数は「岩見沢ターミナル」が最も多く61人、次いで「4条西2丁目（11人）」「イオン三笠店南口（8人）」である。
- ・降車客数は「三笠市民会館」が最も多く18人、次いで「労災病院正門前（15人）」「イオン三笠店南口（15人）」である。

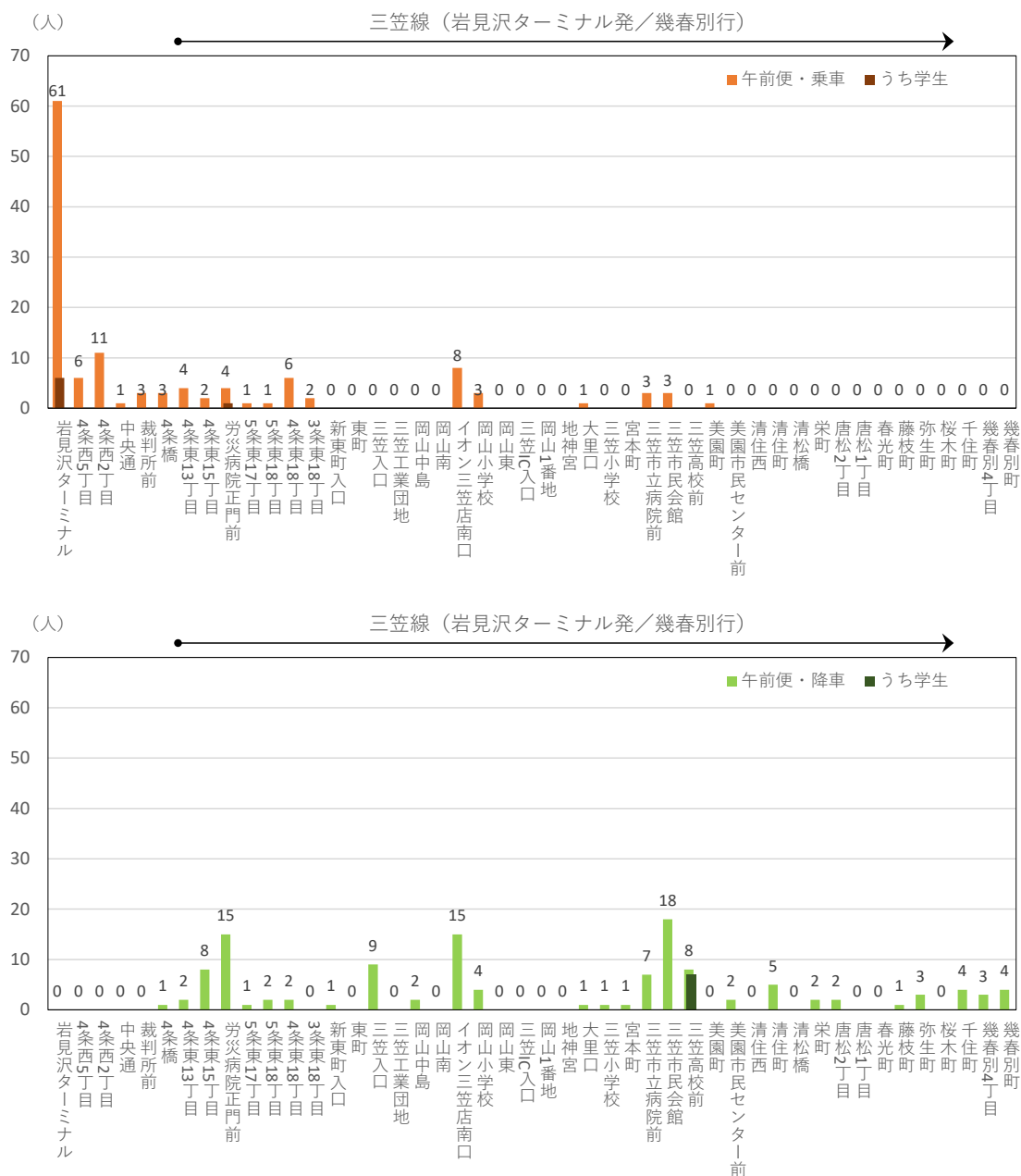


図 3-4 三笠線・午前・下り方向（上：乗車客数、下：降車客数）

⑥午後の下り方向（岩見沢ターミナル発／幾春別行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・ 午後に岩見沢ターミナルを出発する8便の合計について、停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・ 乗車客数は合計で229人である。降車客数もそれに等しい。
- ・ 乗車客数は「岩見沢ターミナル」が最も多く118人、次いで「4条西2丁目（35人）」「イオン三笠店南口（23人）」である。
- ・ 降車客数は「三笠市民会館」が最も多く51人、次いで「三笠市立病院前（34人）」「美園市民センター前（12人）」である。

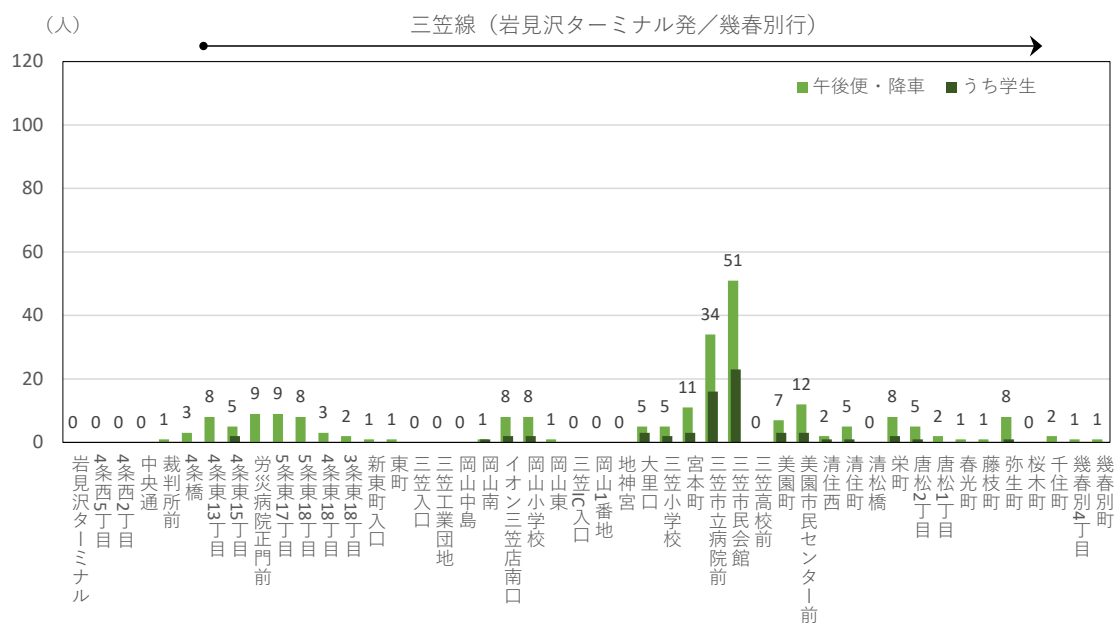
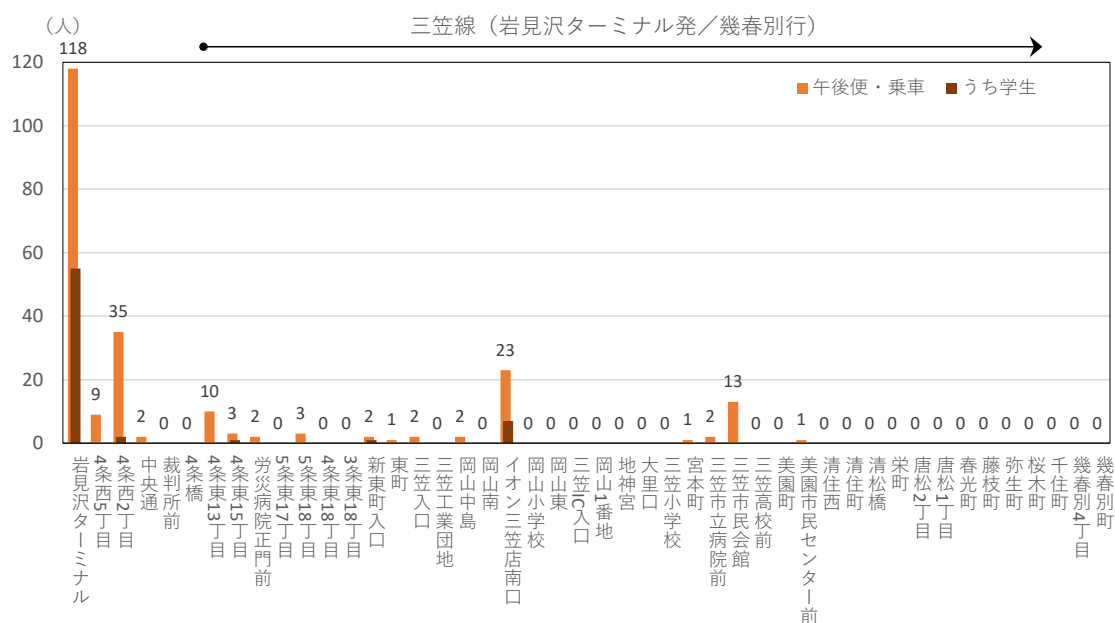


図 3-5 三笠線・午後・下り方向（上：乗車客数、下：降車客数）

⑦午前の上り方向（幾春別発／岩見沢ターミナル行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・午前に幾春別町または美園市民センターを出発する7便の合計について、停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・乗車客数は合計で219人である。降車客数もそれに等しい。
- ・乗車客数は「三笠市民会館」が最も多く34人、次いで「三笠市立病院前（19人）」「美園市民センター前（18人）」である。
- ・降車客数は「4条西5丁目」が最も多く50人、次いで「岩見沢ターミナル（45人）」「4条西2丁目（26人）」である。

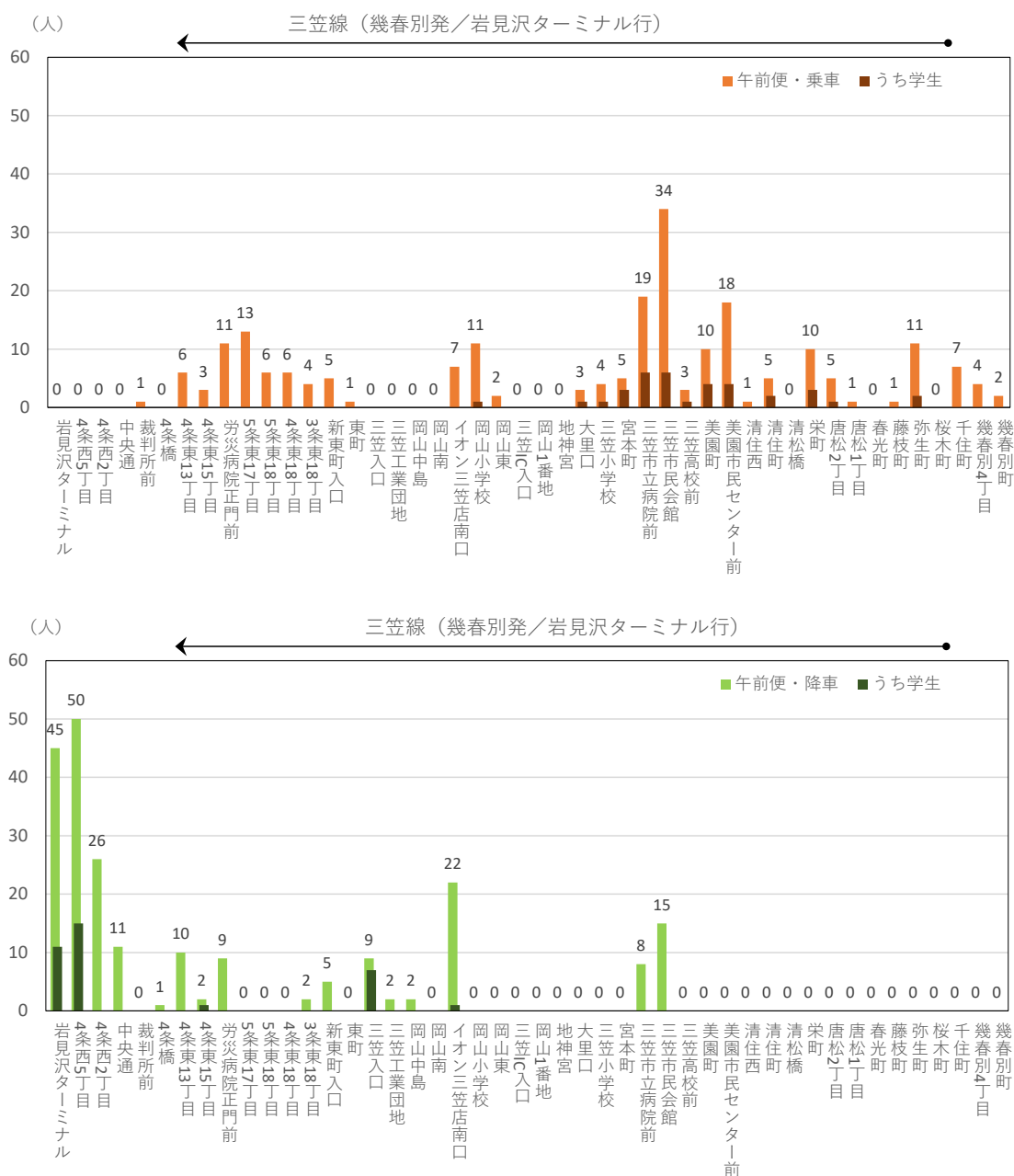


図 3-6 三笠線・午後・下り方向（上：乗車客数、下：降車客数）

⑧ 午後の上り方向（幾春別発／岩見沢ターミナル行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・ 午後に幾春別町または美園市民センターを出発する6便の合計について、停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・ 乗車客数は合計で123人である。降車客数もそれに等しい。
- ・ 乗車客数は「三笠市民会館」が最も多く19人、次いで「イオン三笠店南口（13人）」「三笠市立病院前（10人）」「労災病院正門前（10人）」である。
- ・ 降車客数は「岩見沢ターミナル」が最も多く45人、次いで「4条西2丁目（18人）」「4条西5丁目（15人）」である。

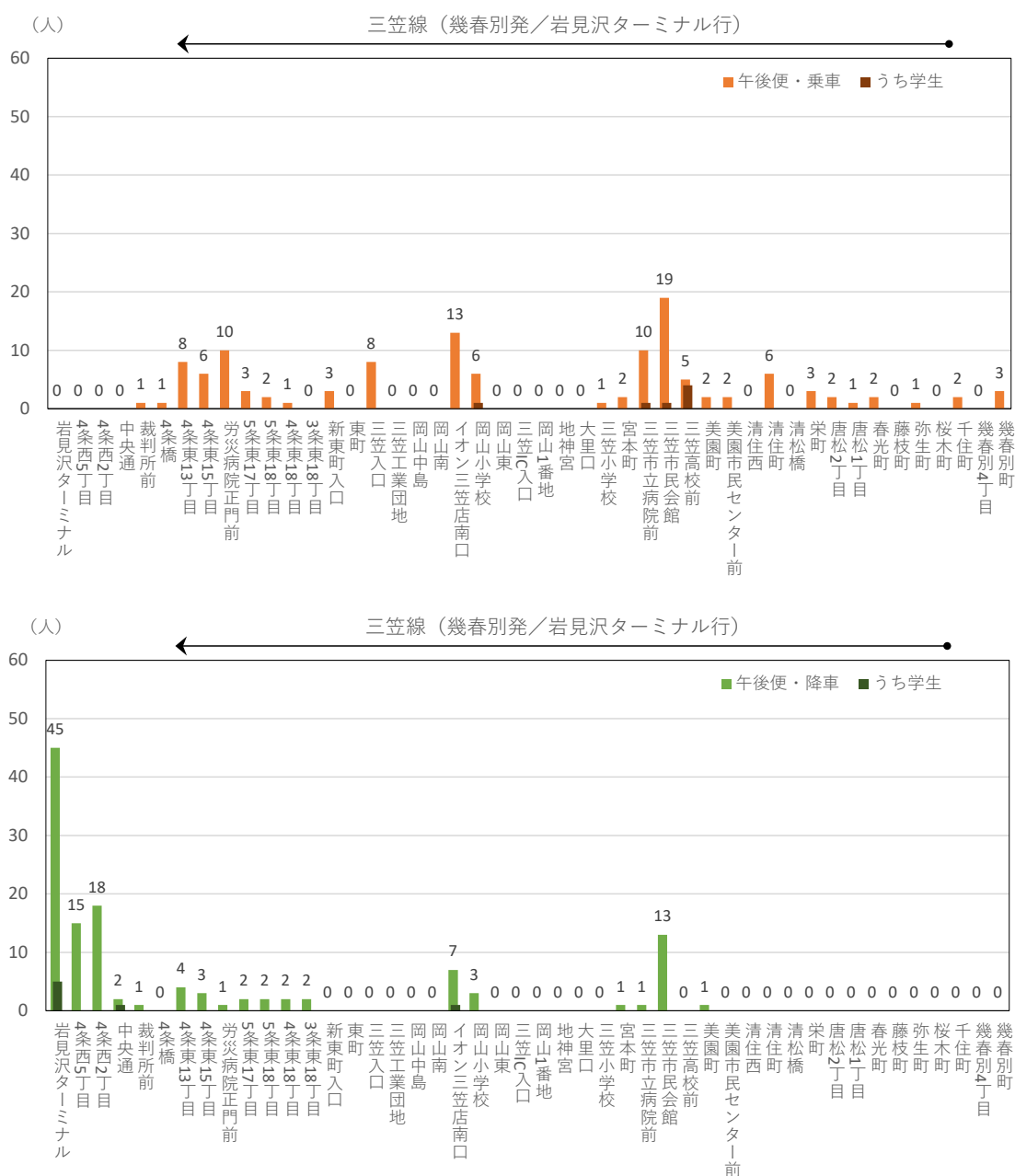


図 3-7 三笠線・午後・下り方向（上：乗車客数、下：降車客数）

(2) 高速みかさ号（北海道中央バス）

①便別の乗降客数

- ・高速みかさ号の「岩見沢ターミナル～三笠市民会館」間における一日乗降客数（乗車客数＋降車客数）は109人であった。
- ・一便平均の乗降客数は27.3人であった。
- ・最も多い便で乗降客数は60人、少ない便で12人であった。

表 3-6 高速みかさ号の便別の乗降客数（岩見沢ターミナル～三笠市民会館）

便情報			乗降客数 (人)	内訳 (人)		
方 向	発時刻*	着時刻*		一般	学生	小人
【下り】 岩見沢ターミナル発* →三笠市民会館着	16:22	16:47	20	17	3	0
	18:52	19:17	12	6	6	0
	合計		32	23	9	0
【上り】 三笠市民会館発 →岩見沢ターミナル着*	7:18	7:45	60	17	43	0
	9:33	10:00	17	17	0	0
	合計		77	34	43	0
上下合計			109	57	52	0
一便平均			27.3	14.3	13.0	0

※札幌駅前ターミナルまで運行するが、岩見沢ターミナルでの発着時刻で表記している。

②停留所別の乗降客数

- ・「岩見沢ターミナル」での乗降客数が最も多く45人であり、うち学生が20人であった。
- ・次いで乗降客数が多いのは「三笠市民会館」の40人であり、うち学生が26人であった。

表 3-7 高速みかさ号の停留所別の乗降客数（岩見沢ターミナル～三笠市民会館）

停留所 名称	乗車客数		降車客数		乗降客数	
	合計	うち学生	合計	うち学生	合計	うち学生
岩見沢ターミナル	17	4	28	16	45	20
4条西5丁目	1	0	8	4	9	4
まむれ団地	5	0	4	0	9	0
萱野	2	1	1	0	3	1
岡山小学校前	2	0	1	1	3	1
三笠市民会館	32	23	8	3	40	26
上記停留所の合計	59	28	50	24	109	52

③下り方向（札幌発・岩見沢ターミナル経由／三笠市民会館行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・ 午後に岩見沢ターミナルを出発する2便の合計について、岩見沢ターミナル以降の停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・ 岩見沢ターミナル以降の乗車客数は合計で10人、降車客数は22人である。なお、差分は岩見沢ターミナルより前からの乗客である。
- ・ 乗車客数は「岩見沢ターミナル」が最も多く8人である。
- ・ 降車客数は「岩見沢ターミナル」が最も多く9人、次いで「三笠市民会館（8人）」である。

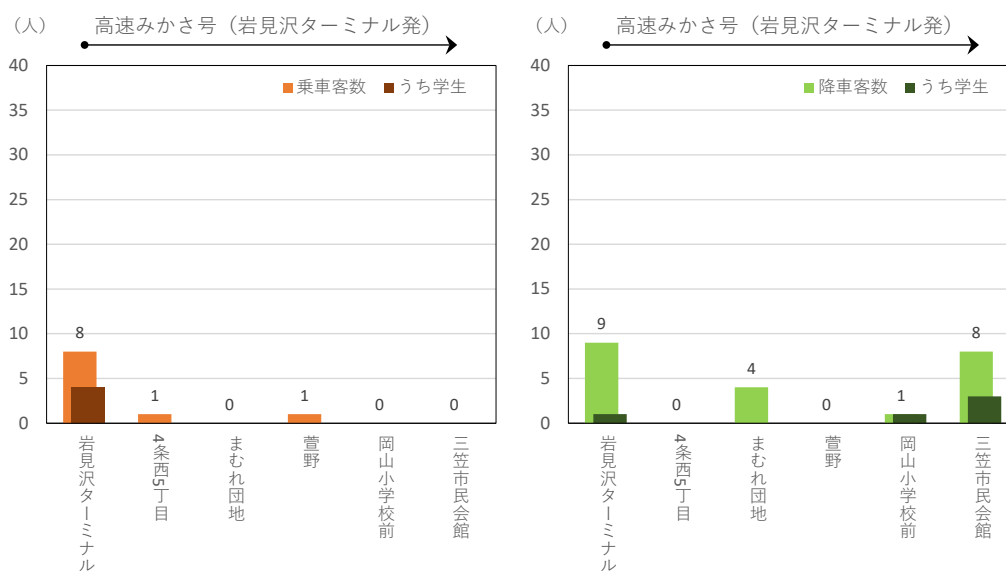


図 3-8 高速みかさ号・下り方向（左：乗車客数、右：降車客数）

④上り方向（三笠市民会館発／岩見沢ターミナル経由・札幌行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・午前には三笠市民会館を出発する2便の合計について、岩見沢ターミナルまでの停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・岩見沢ターミナルまでの乗車客数は合計で49人、降車客数は28人である。なお、差分は岩見沢ターミナルより先まで利用する乗客である。
- ・乗車客数は「三笠市民会館」が最も多く32人、次いで「岩見沢ターミナル（9人）」である。
- ・降車客数は「岩見沢ターミナル」が最も多く19人、次いで「4条西5丁目（8人）」である。

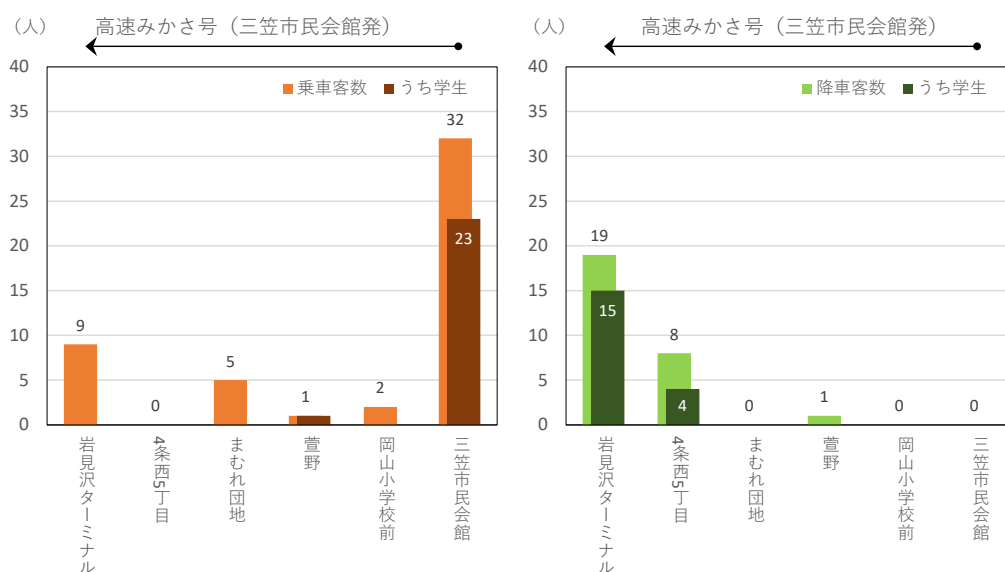


図 3-9 高速みかさ号・上り方向（左：乗車客数、右：降車客数）

(3) 幌内線（三笠市営バス）

①便別の乗降客数

- ・幌内線の一日乗降客数（乗車客数＋降車客数）は98人であった。
- ・一便平均の乗降客数は4.9人であった。
- ・最も多い便で乗降客数は14人、少ない便で0人であった。

表 3-8 幌内線の便別の乗降客数

便情報			乗降客数 (人)	内訳 (人)		
方 向	発時刻	着時刻		一般	学生	小人
【下り】 三笠小学校 →幌内1丁目	7:56	8:11	6	6	0	0
	9:42	10:03	8	8	0	0
	11:00	11:21	12	12	0	0
	12:30	12:51	4	4	0	0
	13:50	14:11	2	2	0	0
	15:00	15:21	10	8	0	2
	15:40	16:01	0	0	0	0
	16:50	17:05	4	2	2	0
	17:41	17:56	0	0	0	0
	18:50	19:05	0	0	0	0
	下り 合計			46	42	2
【上り】 幌内1丁目 →三笠小学校	6:40	6:55	0	0	0	0
	7:35	7:50	6	4	0	2
	8:17	8:38	6	6	0	0
	9:05	9:26	14	14	0	0
	10:15	10:37	6	6	0	0
	11:55	12:16	12	12	0	0
	14:20	14:41	2	2	0	0
	16:20	16:41	6	4	2	0
	17:15	17:30	0	0	0	0
	18:10	18:25	0	0	0	0
	上り 合計			52	48	2
上下合計			98	90	4	4
一便平均			4.9	4.5	0.2	0.2

②停留所別の乗降客数

- ・「(三笠) 市民会館」での乗降客数が最も多く 21 人であった。
- ・次いで乗降客数が多いのは「農協前 (17 人)」「榊町団地 (12 人)」「幌内 3 丁目 (10 人)」であった。

表 3-9 幌内線の停留所別の乗降客数

停留所 名称	乗車客数		降車客数		乗降客数	
	合計	うち学生	合計	うち学生	合計	うち学生
三笠小学校	3	0	1	0	4	0
市立病院前	1	0	8	0	9	0
榊町団地	7	0	5	0	12	0
高美町団地	1	0	0	0	1	0
柏町児童公園前	0	0	0	0	0	0
ふれあい健康センター	0	0	2	0	2	0
農協前	10	0	7	1	17	1
市民会館	10	1	11	0	21	1
多賀町	0	0	0	0	0	0
クロフォード公園	2	0	1	0	3	0
本町	0	0	1	0	1	0
初音町入口	1	0	2	0	3	0
住吉1番地	3	0	2	0	5	0
住吉町	1	0	0	0	1	0
三笠幌内郵便局前	1	0	0	0	1	0
北星町	2	0	2	0	4	0
幌内市民センター前	0	0	1	0	1	0
幌内3丁目	5	1	5	1	10	2
鉄道記念館	2	0	1	0	3	0
幌内1丁目	0	0	0	0	0	0
合計	49	2	49	2	98	4

③平均乗車密度

- ・平均乗車密度とは利用者数を始点から終点まで均した値であり、利用者ごとの乗車距離の合計をバス路線長で割ったものとなる。
- ・平均乗車密度は最も多い便（幌内1丁目9:05発）でも2.3人であり、最大区間での乗車人数は5人であった。

表 3-10 幌内線の便別の平均乗車密度

便情報			最大区間の 乗車人数（人）	平均乗車密度 （人）
方 向	発時刻	着時刻		
【下り】 三笠小学校 →幌内1丁目	7:56	8:11	2	1.3
	9:42	10:03	3	1.1
	11:00	11:21	4	1.6
	12:30	12:51	1	0.6
	13:50	14:11	1	0.2
	15:00	15:21	5	1.9
	15:40	16:01	0	0.0
	16:50	17:05	2	0.9
	17:41	17:56	0	0.0
	18:50	19:05	0	0.0
	下り 平均		1.8	0.8
【上り】 幌内1丁目 →三笠小学校	6:40	6:55	0	0.0
	7:35	7:50	3	1.7
	8:17	8:38	2	1.0
	9:05	9:26	5	2.3
	10:15	10:37	2	0.7
	11:55	12:16	4	2.0
	14:20	14:41	1	0.3
	16:20	16:41	2	1.2
	17:15	17:30	0	0.0
	18:10	18:25	0	0.0
	上り 平均		1.9	0.9
上下平均			1.9	0.8

④区間輸送人員

- ・バス停からバス停までの区間ごとの輸送人員を集計した。
- ・便平均の区間輸送人員は、全区間を通じて2人を下回っている。

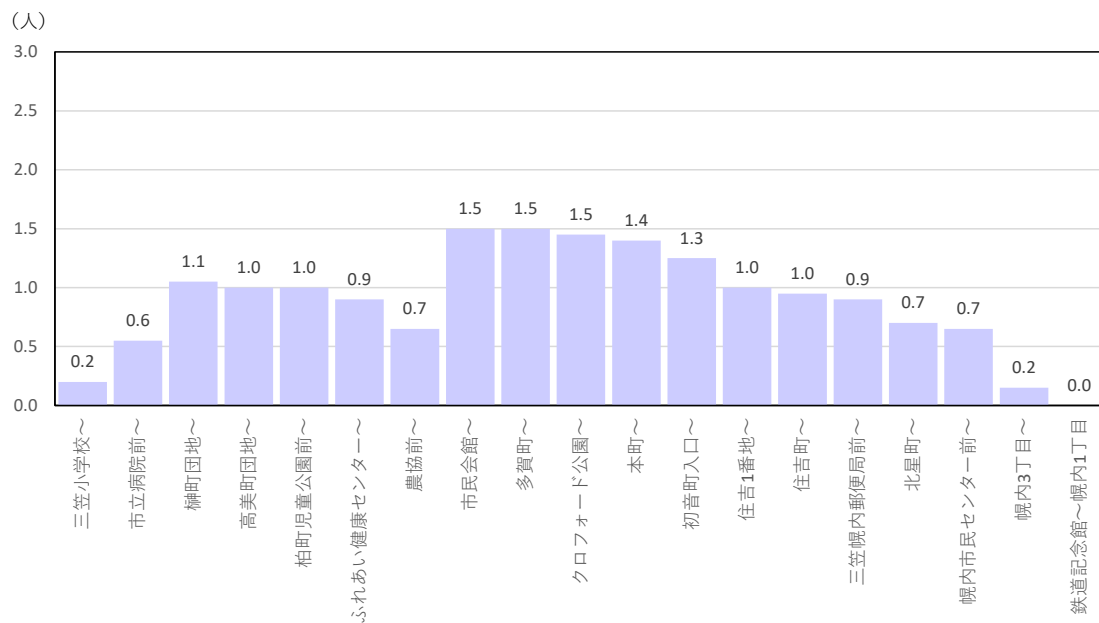


図 3-10 幌内線の便平均の区間輸送人員

⑤下り方向（三笠小学校発／幌内1丁目行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・午前中に三笠小学校を出発する午前3便の合計と午後7便の合計について、それぞれ停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・乗車客数は午前13人、午後10人である。降車客数もそれに等しい。
- ・乗車客数は午前では「榊町団地」が多く、午後では「市民会館」が多い。
- ・降車客数は午前では「農協前」が多く、午後では「幌内3丁目」が多い。

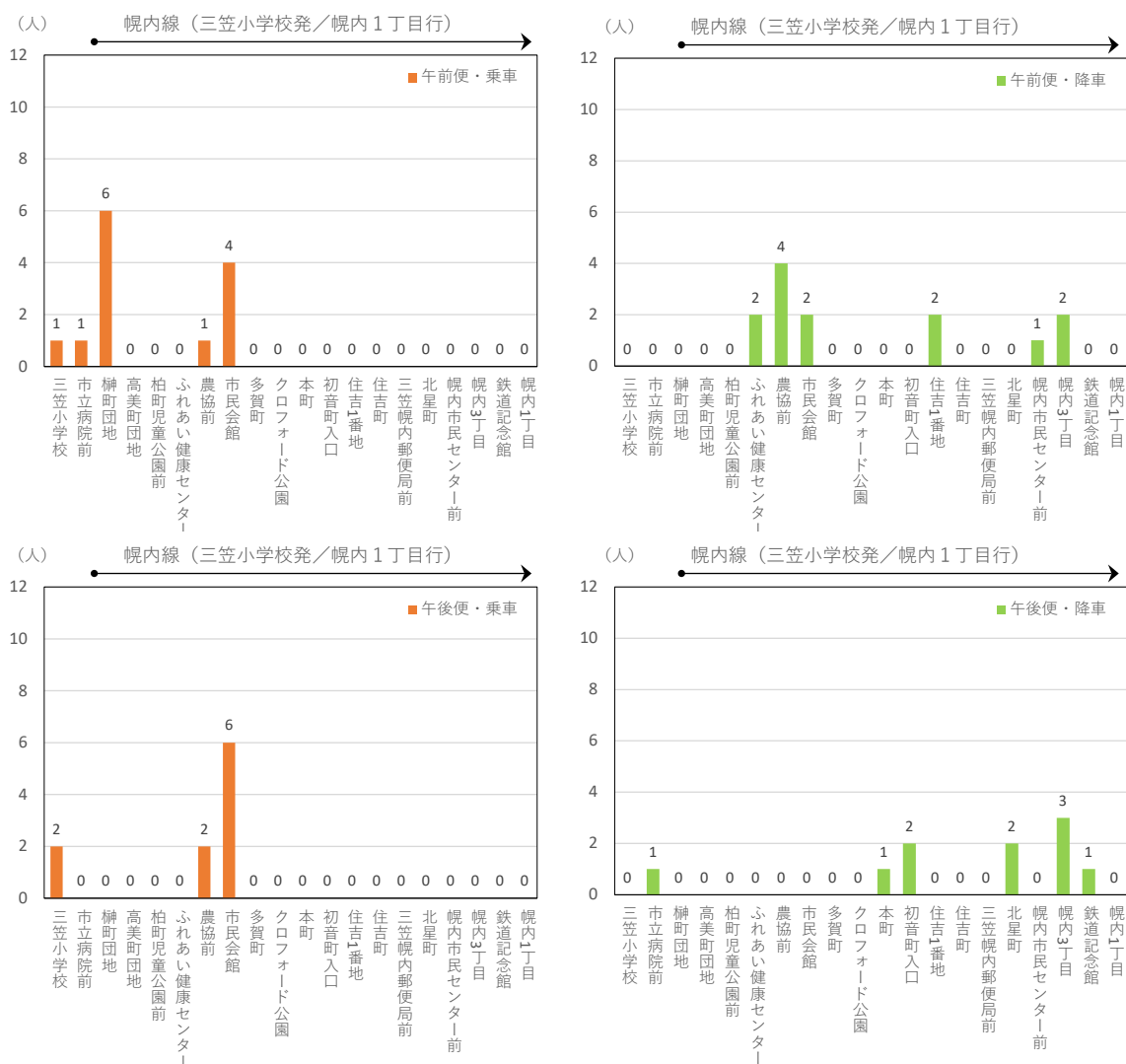


図 3-11 幌内線・下り方向（左：乗車客数、右：降車客数）（上：午前便、下：午後便）

⑥上り方向（幌内1丁目発／三笠小学校行）の停留所別乗車客数・降車客数

- ・午前中に幌内1丁目を出発する午前6便の合計と午後4便の合計について、それぞれ停留所別の乗車客数と降車客数を示したものが下のグラフである。
- ・乗車客数は午前22人、午後4人である。降車客数もそれに等しい。
- ・乗車客数は午前では「農協前」が多い。
- ・降車客数は午前では「市民会館」が多い。

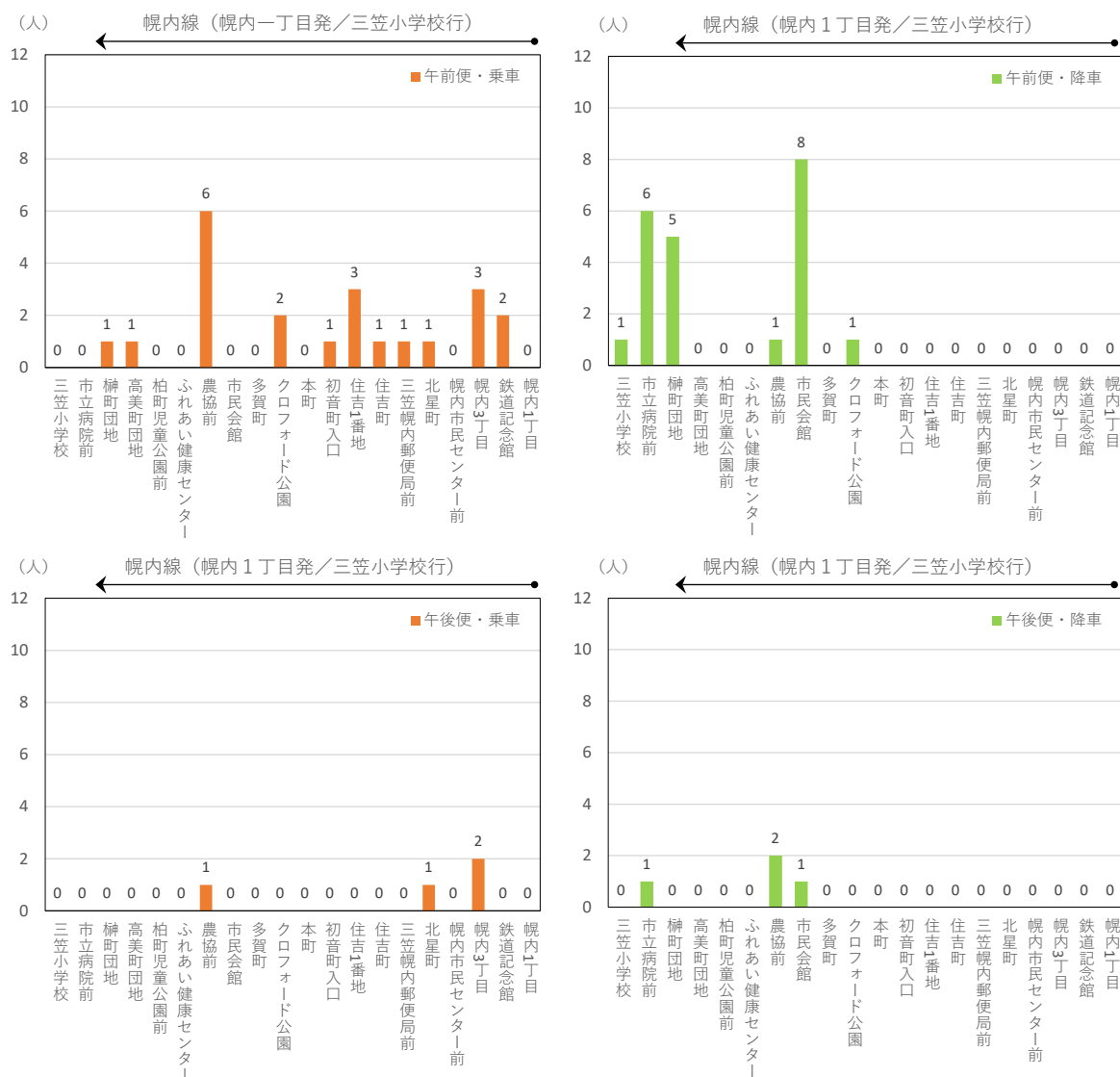


図 3-12 幌内線・上り方向（左：乗車客数、右：降車客数）（上：午前便、下：午後便）

3.2.2 バス利用実態

(1) 路線別回答数

- ・三笠市内で乗車または降車する乗客を対象に、アンケートによる利用実態を把握した。
- ・三笠線は 292 回答、高速みかさ号は 36 回答、幌内線は 47 回答の回答を得ており、合計で 375 回答を得た。

表 3-11 路線別・方向別の回答数

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
回答数	137	155	9	27	22	25	375

(2) 住所

- ・3 路線合計では三笠市民の割合は約 71%であった。
- ・三笠市民の割合は、三笠線では 58%~69%、高速みかさ号では 100%、幌内線では 88%~95%であった。

表 3-12 回答者の住所（数字は回答数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
三笠市	80	107	9	27	21	22	266
岩見沢市	41	36	0	0	0	1	78
その他	15	12	0	0	1	2	30
無回答	1	0	0	0	0	0	1
合計	137	155	9	27	22	25	375

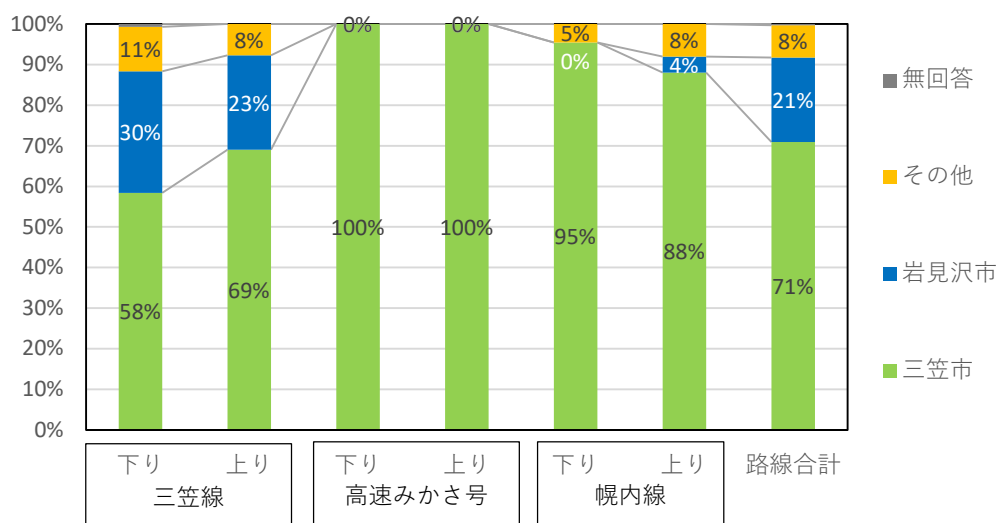


図 3-13 回答者の住所（構成比）

(3) 降車後の乗り継ぎ

- ・降車後の乗り継ぎについては、3路線とも上り方向での乗り継ぎ割合が下り路線よりも高かった。
- ・三笠線の上り方向は「(岩見沢駅での) JR 乗り継ぎ」が7%、「他のバスへの乗り継ぎ」が6%であった。
- ・高速みかさ号の上り方向は「(岩見沢駅での) JR 乗り継ぎ」と「他のバスへの乗り継ぎ」がともに15%であった。

表 3-13 降車後の乗り継ぎ（数字は回答数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
乗り継ぎはない	132	131	9	18	20	19	329
JRへ乗り継ぎ	2	11	0	4	0	0	17
他のバスへ乗り継ぎ	1	9	0	4	1	4	19
無回答	2	4	0	1	1	2	10
合計	137	155	9	27	22	25	375

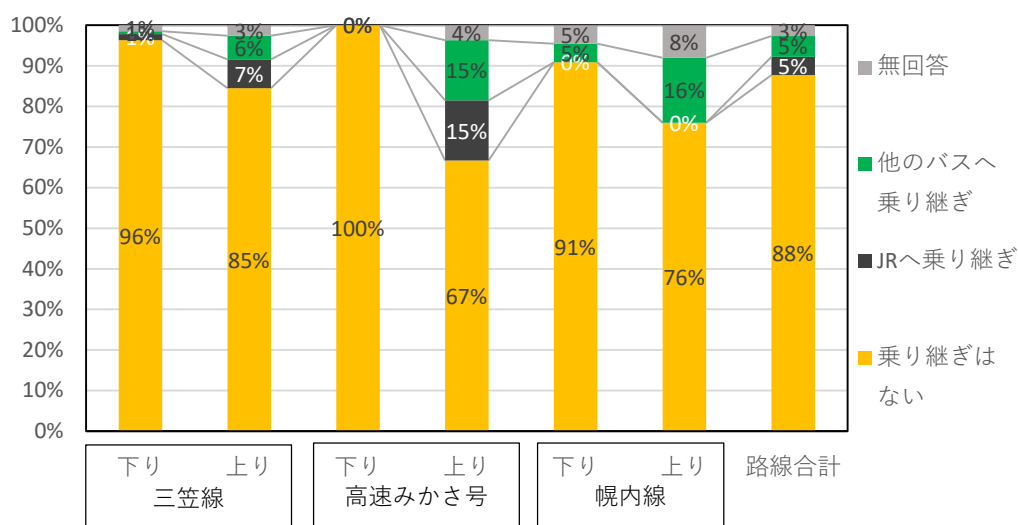


図 3-14 降車後の乗り継ぎ（構成比）

(4) 最終目的地

- ・最終目的地が自宅であるもの、すなわち帰宅のために利用している割合を見ると、下り方向でその割合が高い。

表 3-14 最終目的地（数字は回答数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
自宅	84	58	9	2	10	8	171
自宅以外	52	93	0	25	11	17	198
無回答	1	4	0	0	1	0	6
合計	137	155	9	27	22	25	375

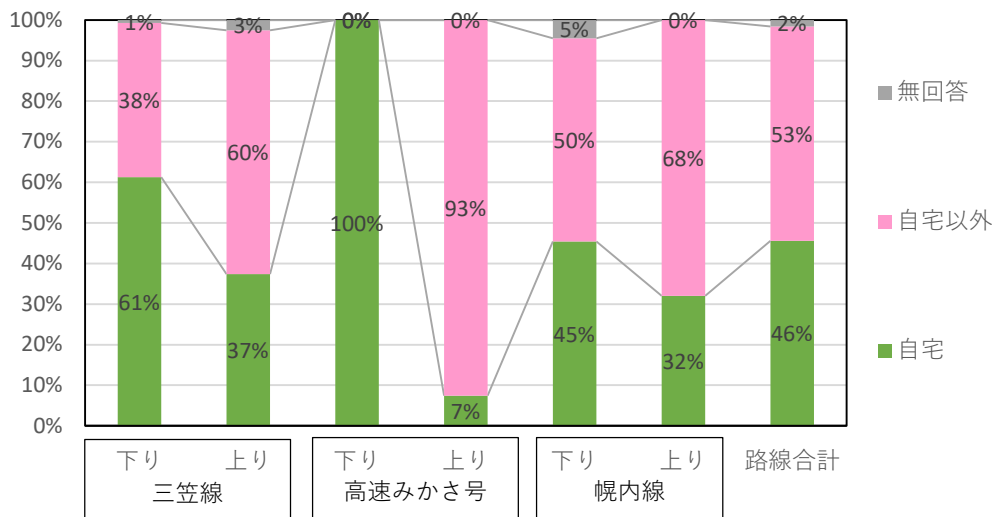


図 3-15 最終目的地（構成比）

(5) 利用頻度

- ・「この便の利用頻度」を質問した結果、「ほぼ毎日」または「週数回」との回答が全体の8割を占めた。
- ・三笠線では「ほぼ毎日」が43%、次いで「週数回」が31%～40%と多い。高速みかさ号では「ほぼ毎日」が67%～70%を占めた。幌内線は比較的利用頻度が低く「週数回」との回答が52%～59%を占めた。

表 3-15 利用頻度（数字は回答数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
ほぼ毎日	59	67	6	19	7	6	164
週数回	43	62	1	3	13	13	135
月数回	24	20	2	4	1	4	55
年数回	9	6	0	1	1	2	19
無回答	2	0	0	0	0	0	2
合計	137	155	9	27	22	25	375

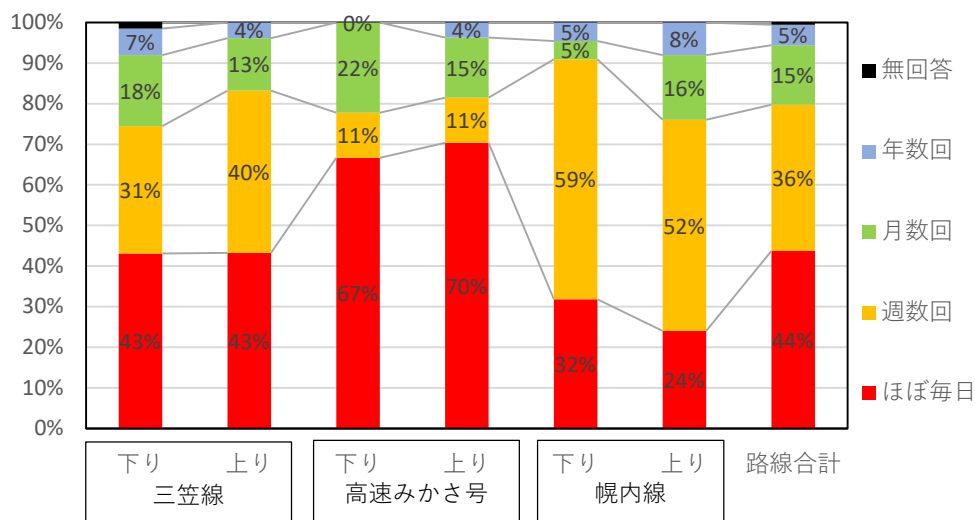


図 3-16 利用頻度（構成比）

(6) このバスが利用できない場合の移動手段（代替手段）

- ・バスの代替手段として「自家用車」「タクシー」「他のバス」「その他」「移動手段が無い」の選択肢から選んでもらった。複数回答があったため選択肢ごとの「選択率」で整理した。
- ・「移動手段が無い」の選択率が50%となり、当該バス路線が唯一の交通手段である状況が明らかとなった。特に三笠線で「移動手段が無い」の選択率が高い。

表 3-16 代替手段（数字は回答数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
自家用車	27	13	2	7	3	3	55
タクシー	32	25	0	2	15	14	88
他のバス	3	1	3	17	0	0	24
その他	9	9	1	0	4	7	30
うち徒歩	2	1	0	0	4	7	14
うち送迎	6	2	1	0	0	0	9
移動手段が無い	69	110	3	1	1	2	186
無回答	3	0	0	1	0	0	4
問いの回答者数	134	155	9	26	22	25	371

表 3-17 代替手段の選択率（選択肢を選んだ回答者数÷問いの回答者数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
自家用車	20%	8%	22%	27%	14%	12%	15%
タクシー	24%	16%	0%	8%	68%	56%	24%
他のバス	2%	1%	33%	65%	0%	0%	6%
その他	7%	6%	11%	0%	18%	28%	8%
うち徒歩	1%	1%	0%	0%	18%	28%	4%
うち送迎	4%	1%	11%	0%	0%	0%	2%
移動手段が無い	51%	71%	33%	4%	5%	8%	50%

(7) 年齢

- ・回答者の年齢帯は、全体では「70歳代」が最も多い。
- ・三笠線は「70歳代」が他の年齢帯より多いが、学生を調査対象外としていることに留意が必要である。
- ・高速みかさ号は「10歳代」が最も多い。
- ・幌内線は他路線に比べて高齢者の割合が高く、「80歳代」が他の年齢帯より比較的多い。

表 3-18 回答者の年齢（数字は回答数）

	三笠線		高速みかさ号		幌内線		路線合計
	下り	上り	下り	上り	下り	上り	
10歳代	6	6	4	16	1	1	34
20歳代	20	16	0	1	1	1	39
30歳代	10	12	0	1	0	0	23
40歳代	16	21	3	3	2	2	47
50歳代	21	27	1	0	2	2	53
60歳代	24	21	1	5	4	6	61
70歳代	27	39	0	1	3	5	75
80歳代	12	13	0	0	9	8	42
無回答	1	0	0	0	0	0	1
合計	137	155	9	27	22	25	375

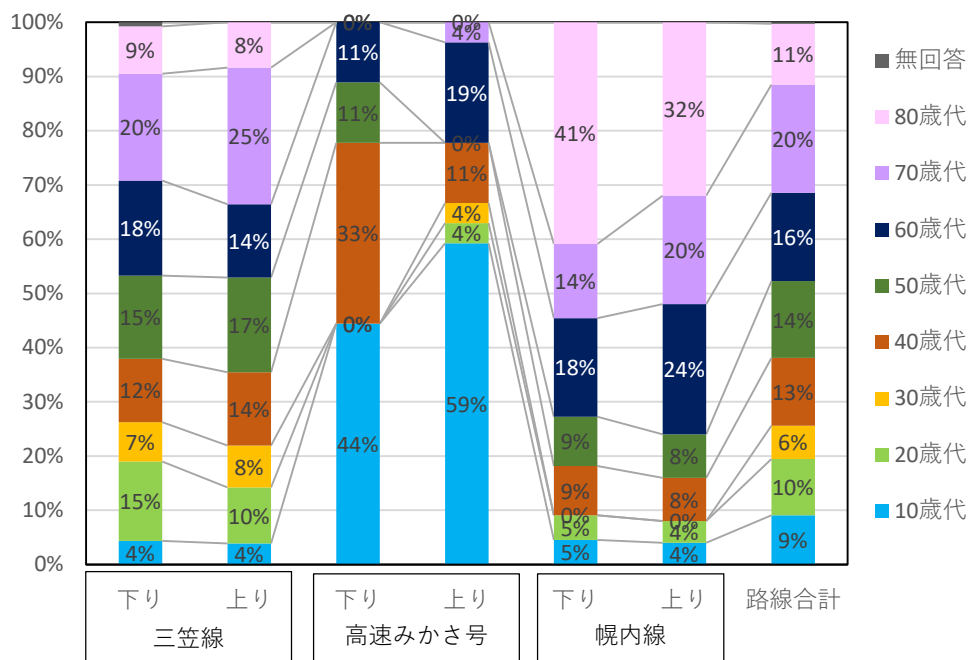


図 3-17 回答者の年齢（構成比）

(9) 高速みかさ号の乗降バス停OD

表 3-20 高速みかさ号の乗降バス停OD表

	降 車 停 留 所													合計						
	札幌駅前	北2条西3	時計台前	ファクトリー	東橋	菊水元町7	(高速)野幌	(高速)栗沢	駒園8丁目	市立病院前	市民会館前	4条西5	岩見沢タ		4条西5	まむれ団地	萱野	岡山小学校	三笠市民会館	
乗 車 停 留 所	札幌駅前ターミナル																			
	北2条西3丁目																			
	時計台前																			
	サッポロファクトリー前																			
	東橋																			
	菊水元町7条																			
	(高速)野幌																			
	(高速)栗沢																			
	駒園8丁目																			
	市立病院前																			
	市民会館前																			
	4条西5丁目																			
	岩見沢ターミナル																	1	7	8
	4条西5丁目																			
	まむれ団地																			
	萱野														1				1	2
	岡山小学校前														2					2
	三笠市民会館										2	2	1	13	6					24
合計									2	2	1	16	6				1	8	36	

(10) 幌内線の乗降バス停OD

表 3-21 幌内線の乗降バス停OD表

	降 車 停 留 所													合計								
	三笠小学校	市立病院前	榑町団地	高美町団地	柏町児童公園	ふれあい健康	農協前	市民会館	多賀町	クロフォード	本町	初音町入口	住吉1番地		住吉町	三笠幌内郵便	北星町	幌内市民セ	幌内3丁目	鉄道記念館	幌内1丁目	
乗 車 停 留 所	三笠小学校		1			1																2
	市立病院前							1														1
	榑町団地		1				1	3	2													7
	高美町団地		1																			1
	柏町児童公園前																					
	ふれあい健康センター																					
	農協前		2	5							1	1	1									10
	市民会館											1	1				1	1	5	1		10
	多賀町																					
	クロフォード公園		2																			2
	本町																					
	初音町入口								1													1
	住吉1番地			1				1	1													3
	住吉町								1													1
	三笠幌内郵便局前								1													1
	北星町																					1
	幌内市民センター前																					
	幌内3丁目							2	3													5
鉄道記念館								1	1												2	
幌内1丁目																						
合計		8	5			2	7	11		1	1	2	2			1	1	5	1		47	